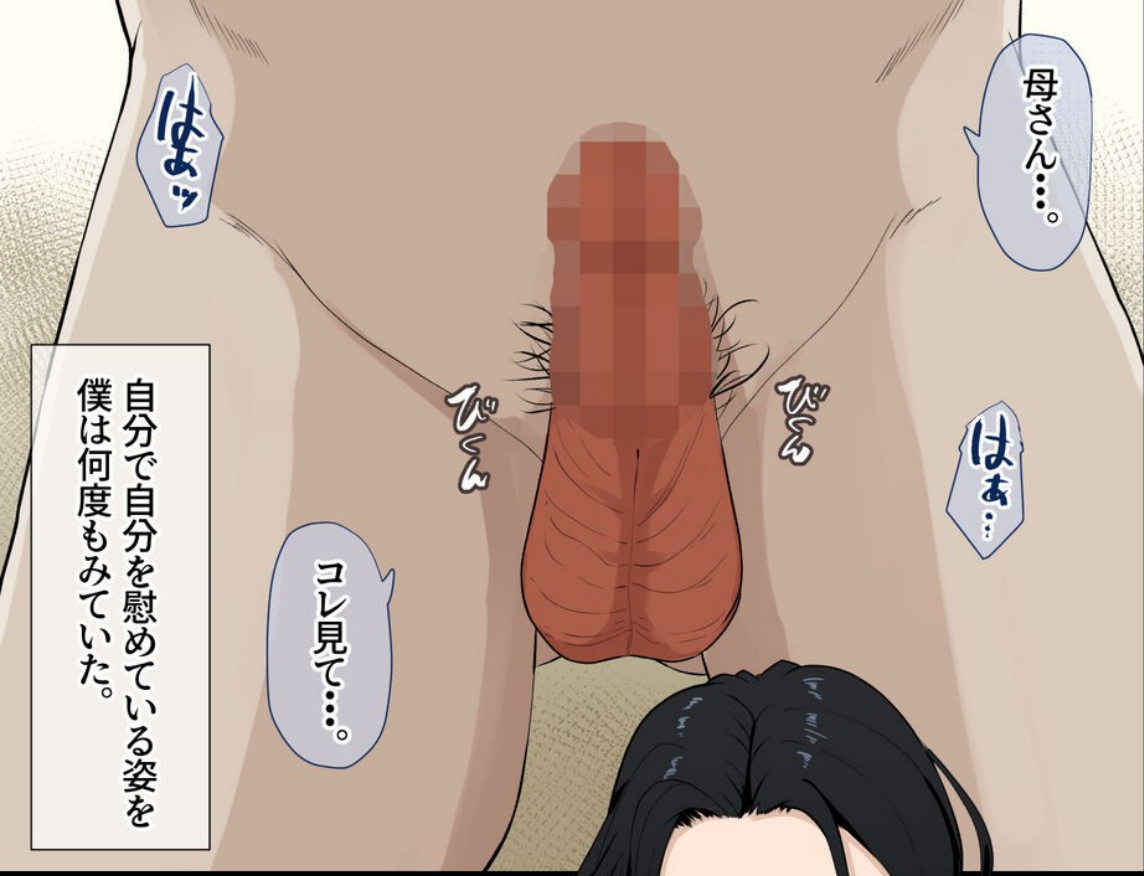


僕の母親が

再婚しない理由

ワケ





母さん…。

はあ…

コレ見て…。

自分で自分を慰めている姿を
僕は何度もみていた。



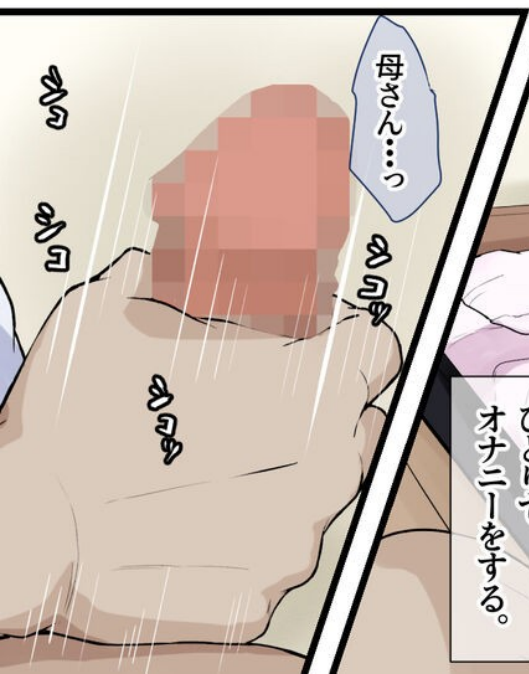
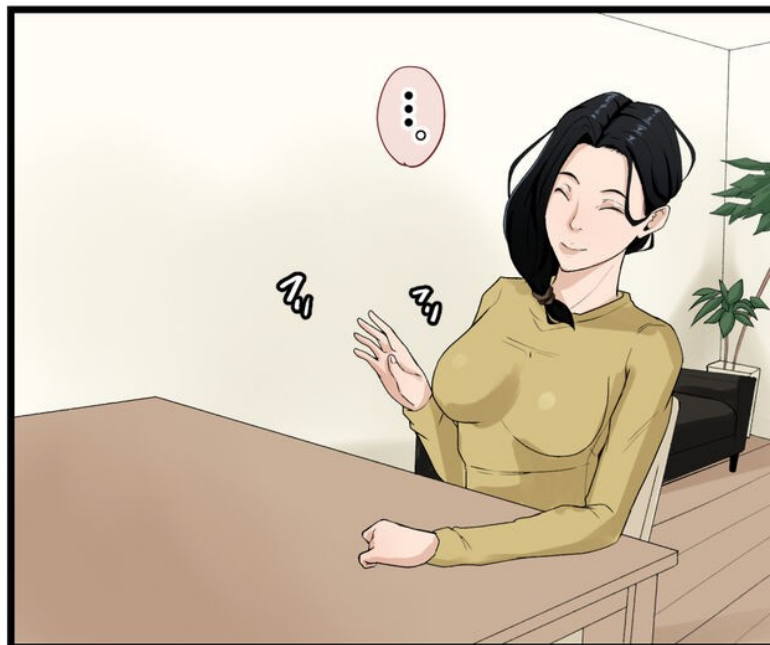
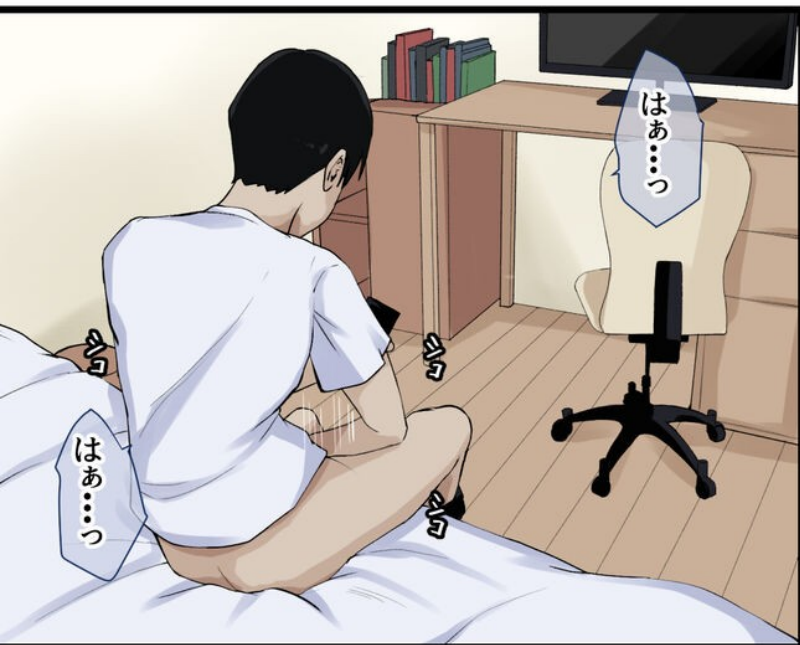
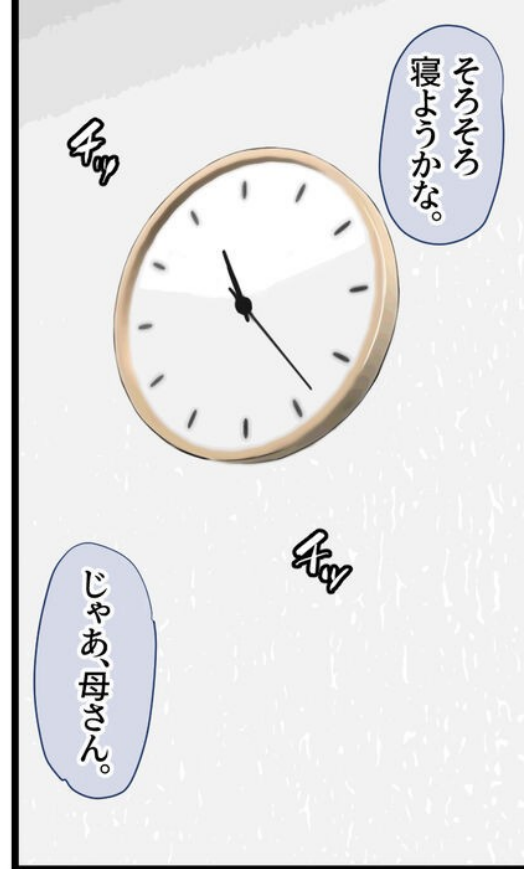
女手ひとつで僕を
育ててくれる母さんが…

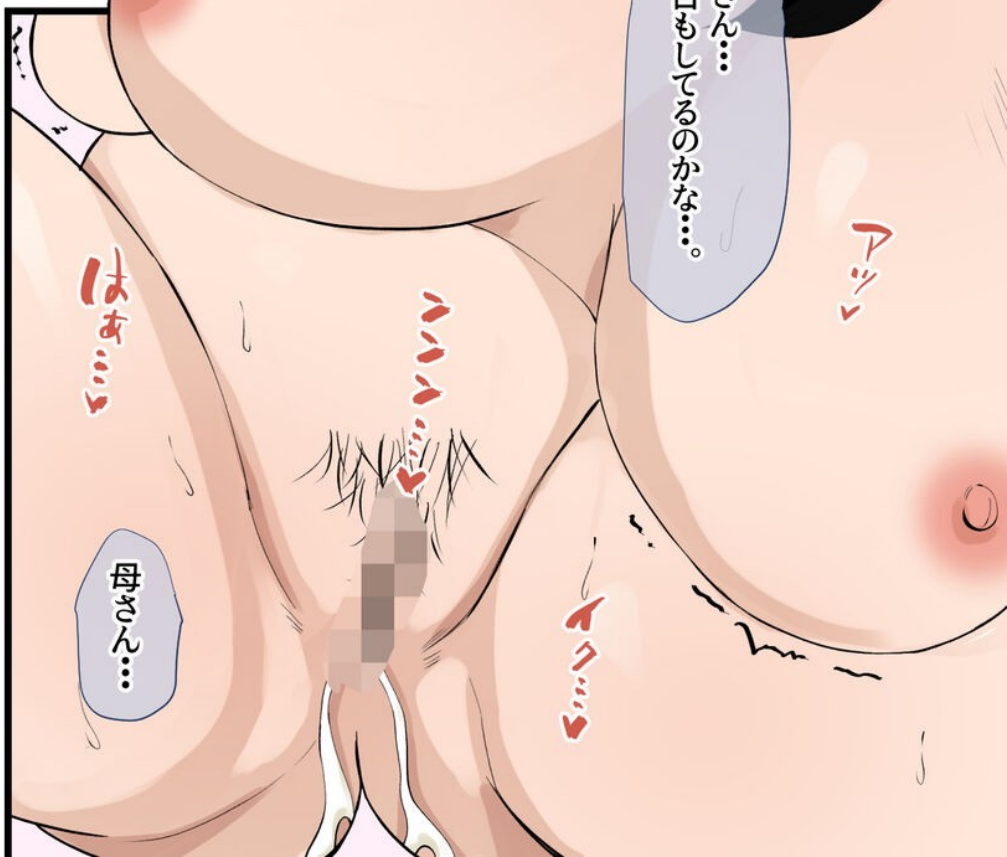
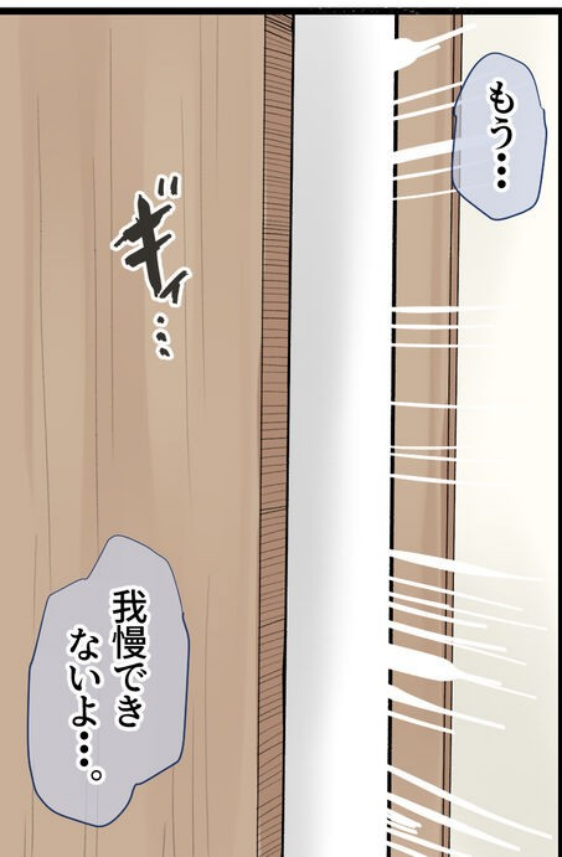
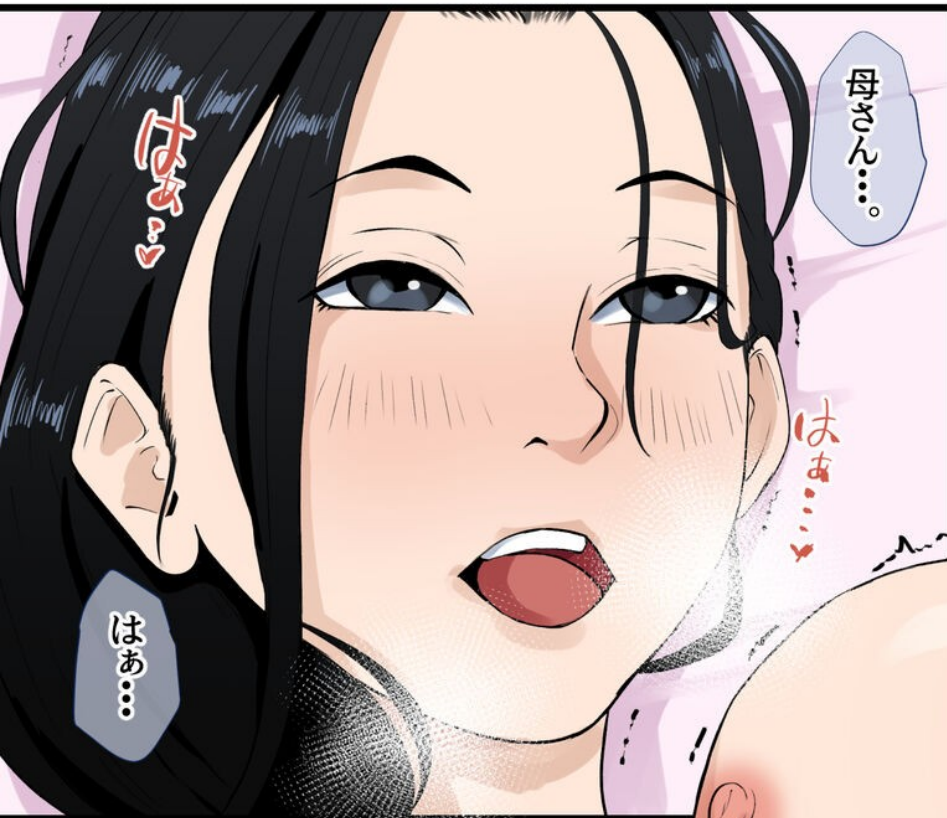


や…やめなさい…っ
ち、違うの…っ
そんなつもりじゃ…

いけないわ…っ
こんなことお…っ

だから僕は、ある日…
母さんの寂しさを埋めてあげた。

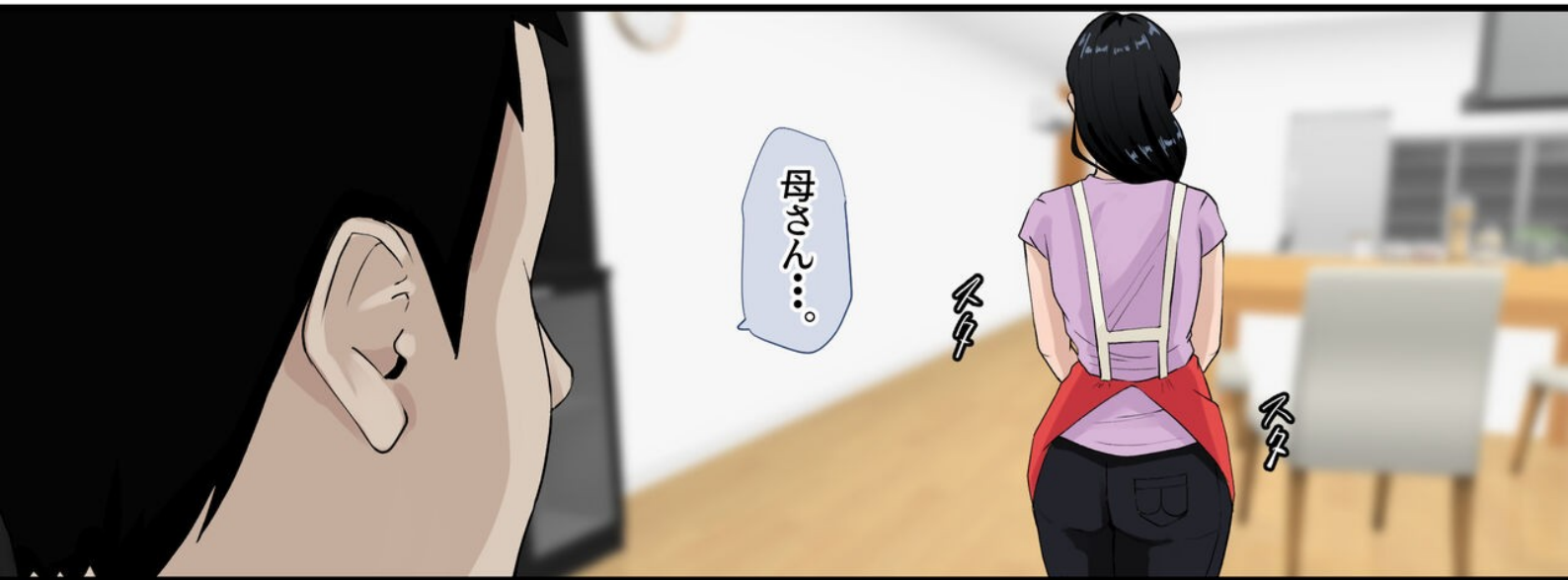
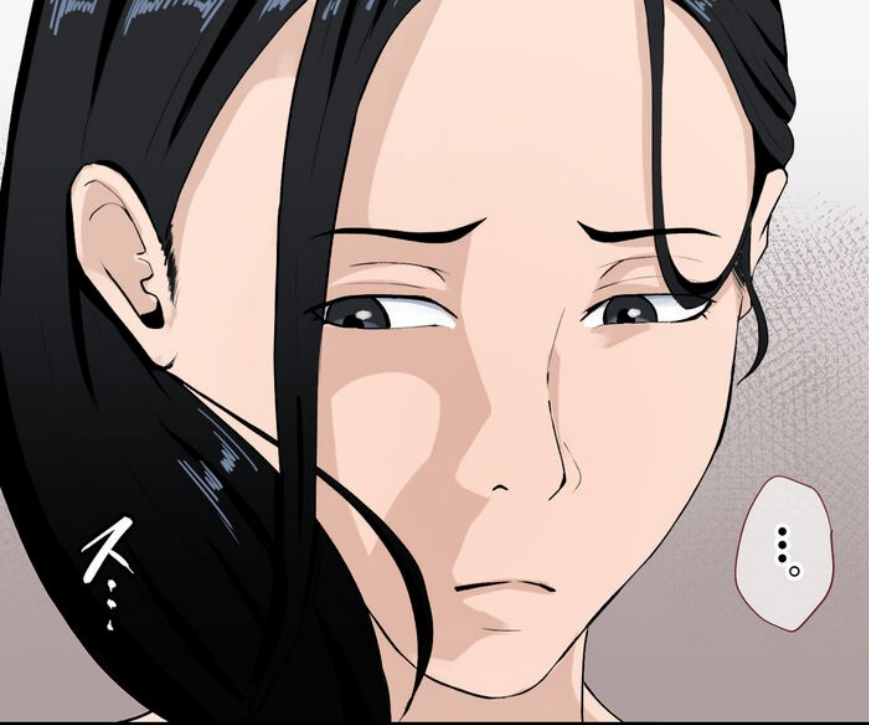






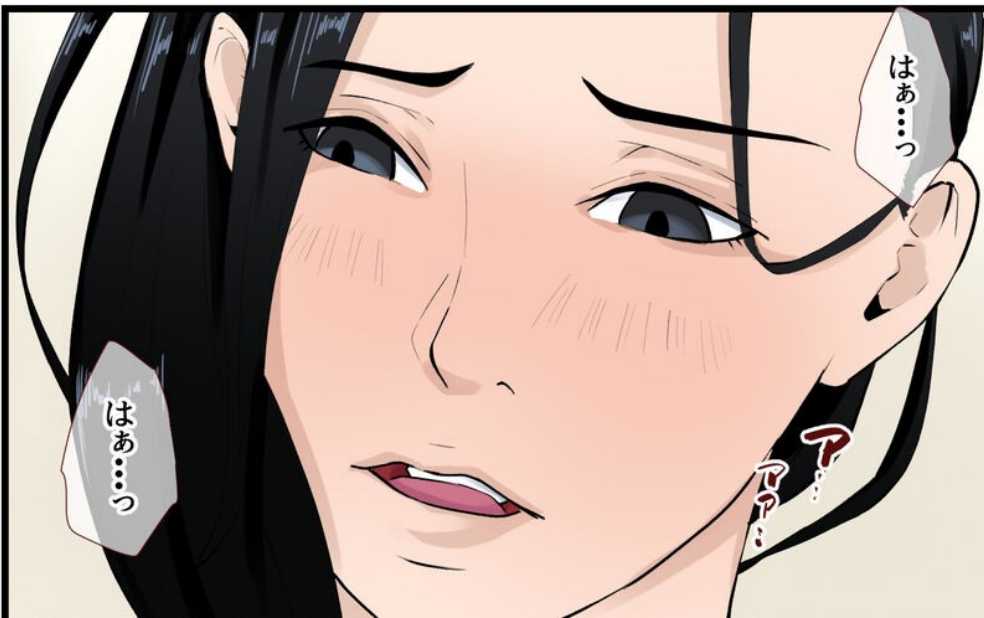
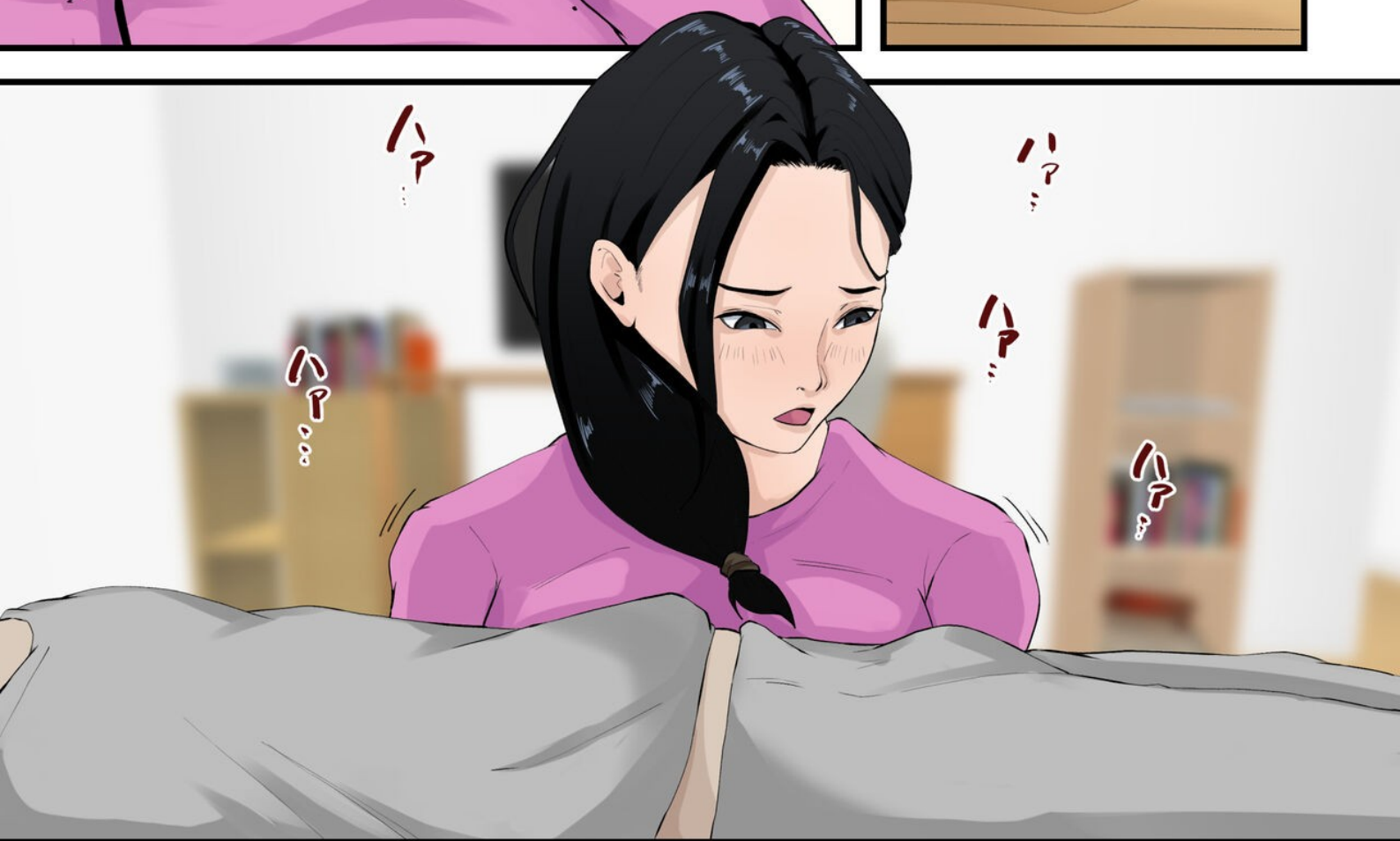
母さんの膣内はヌルヌルで
思った以上に、あっさり入った。

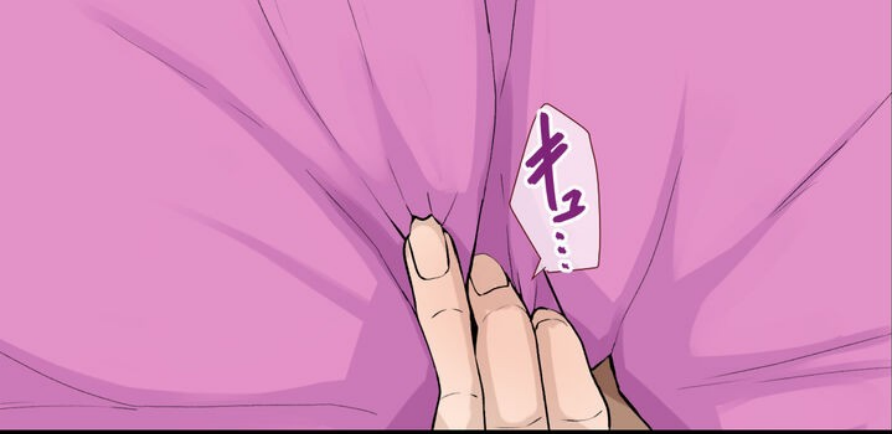
心臓のバクバクが止まらなくて
思った以上に、あっけなく射精した。

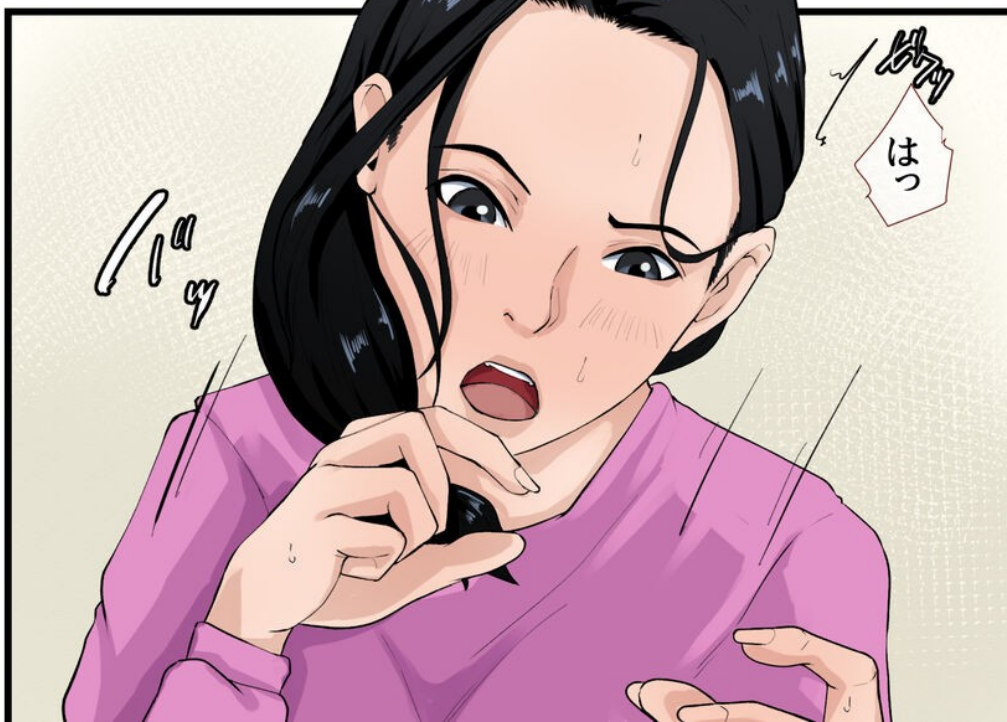
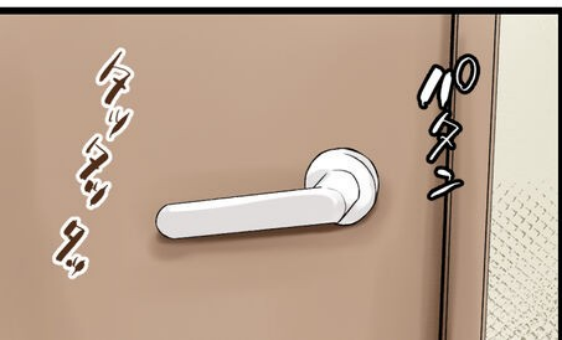
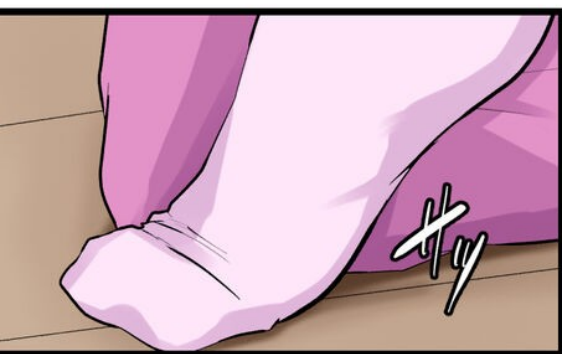
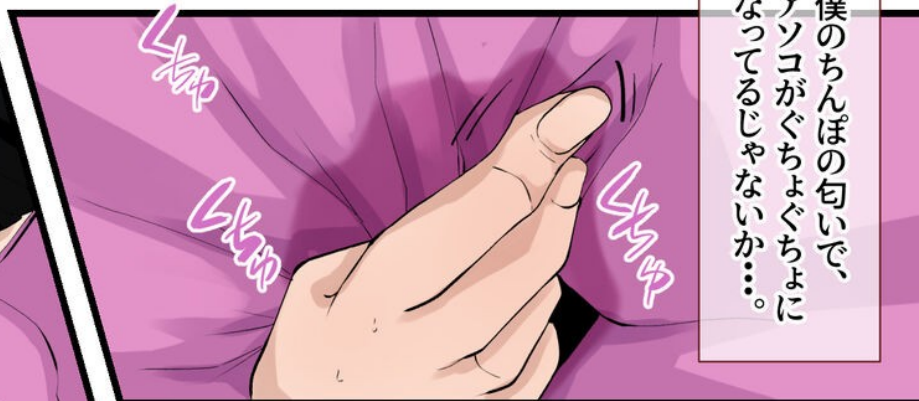
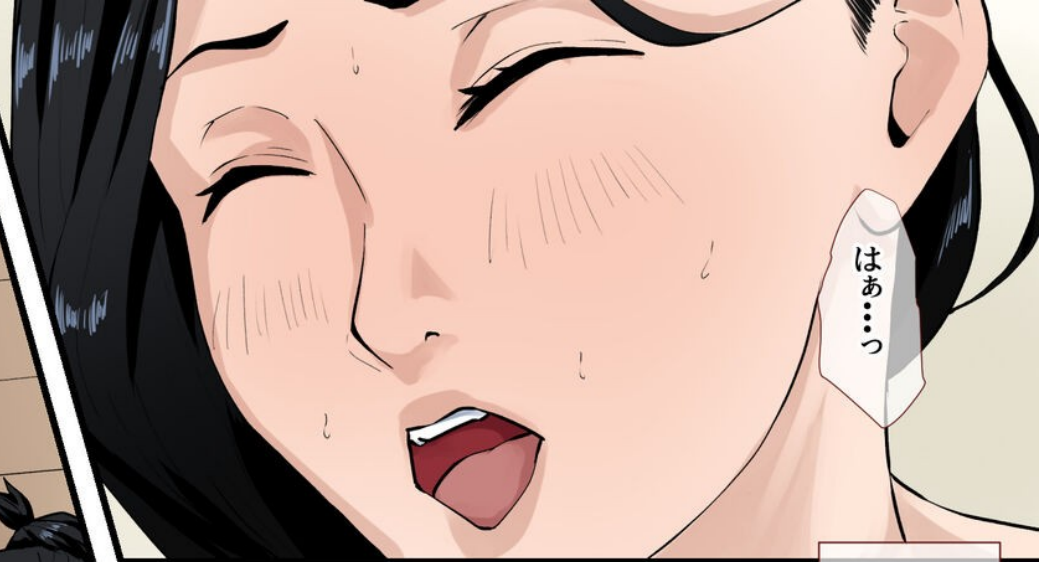


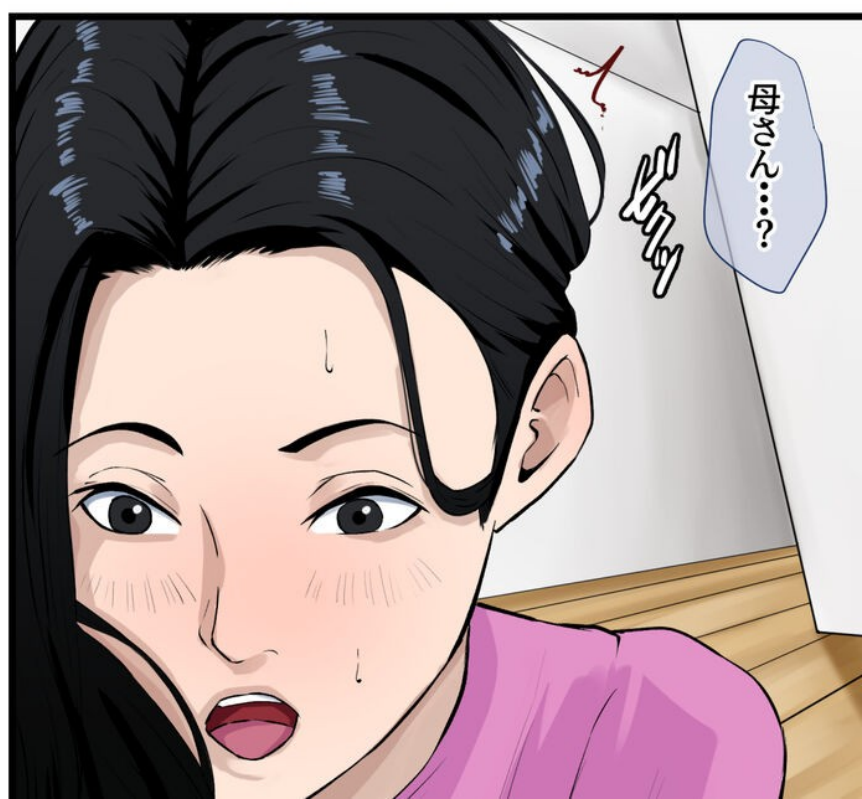
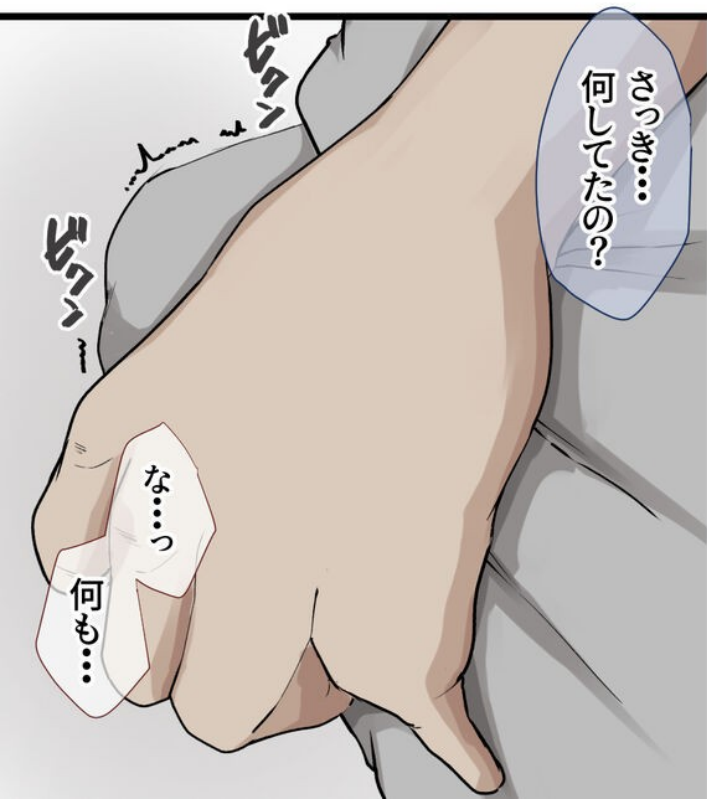
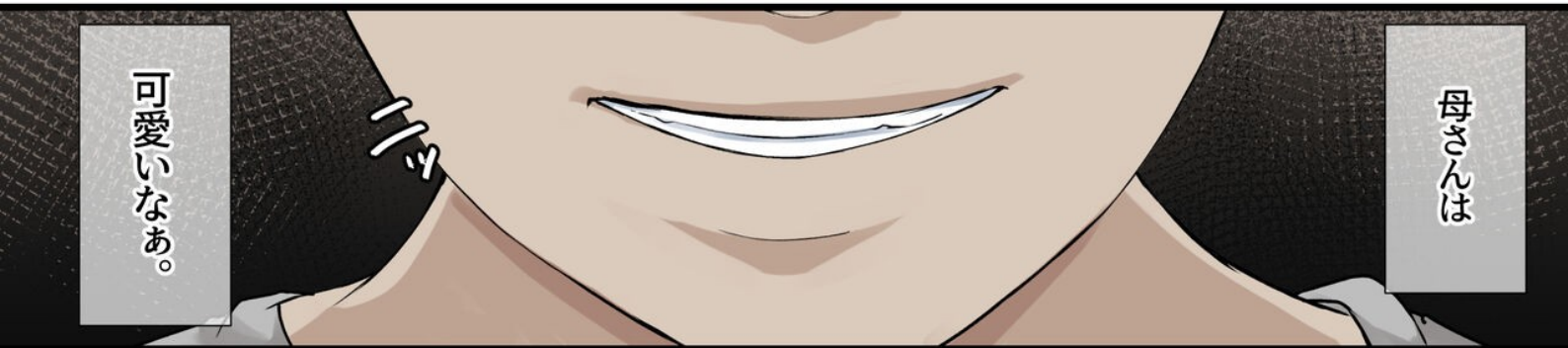
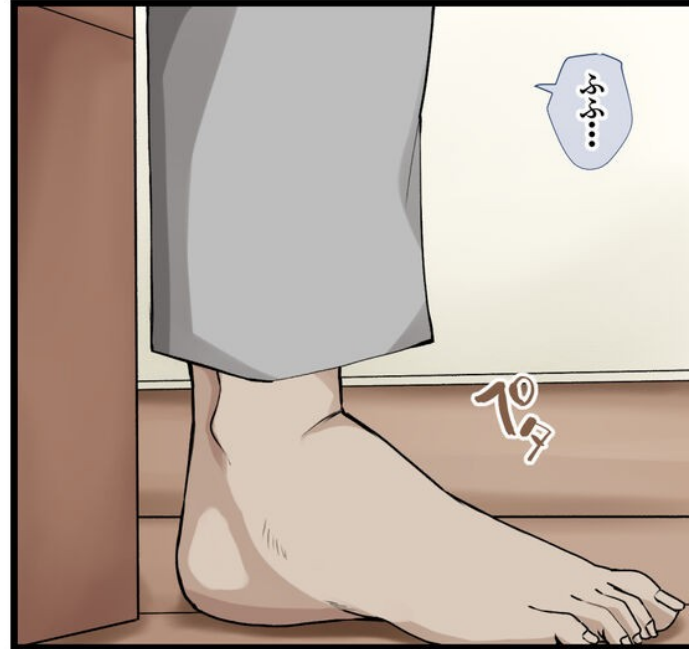
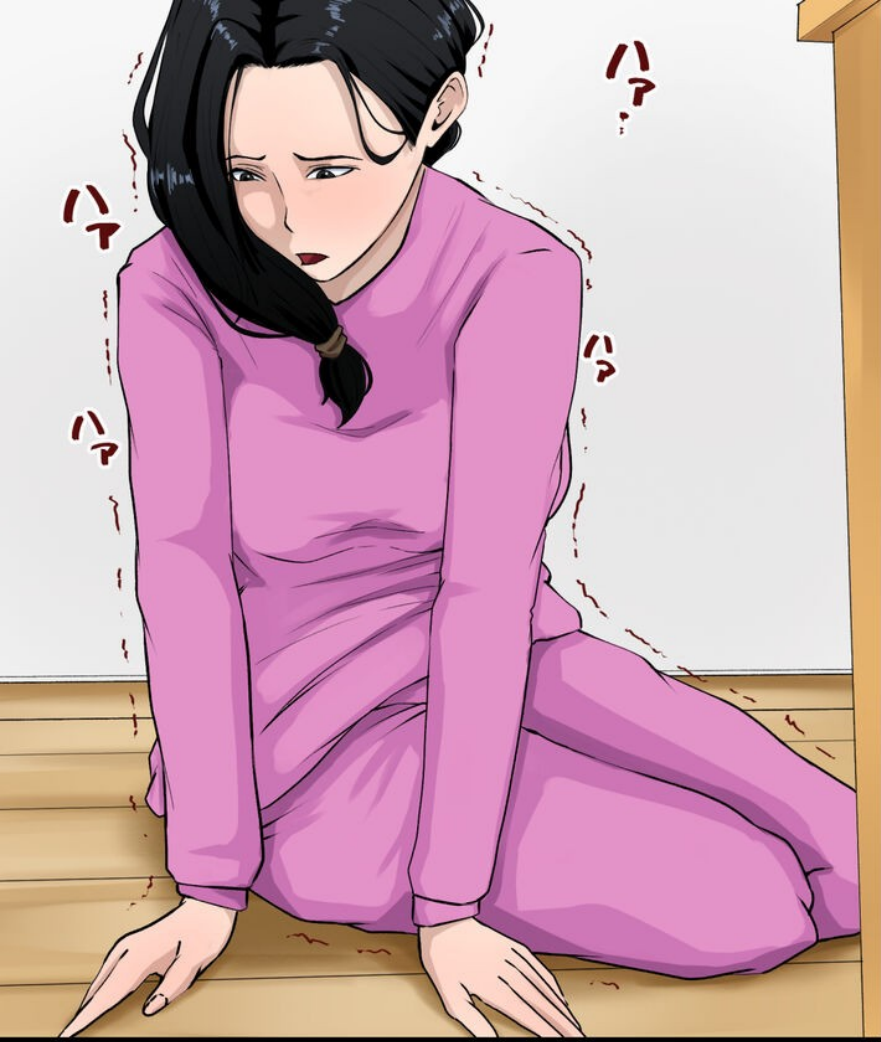


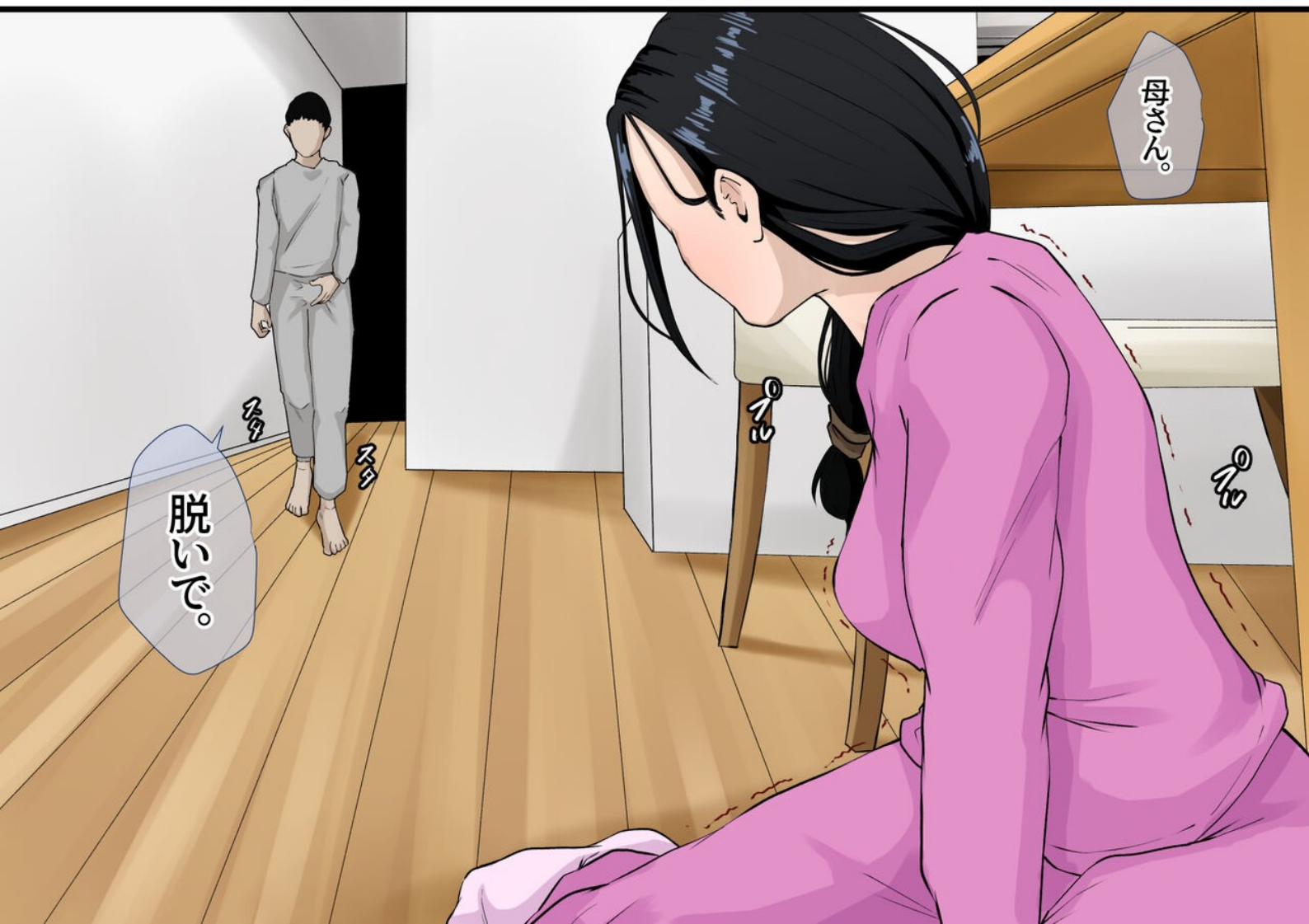
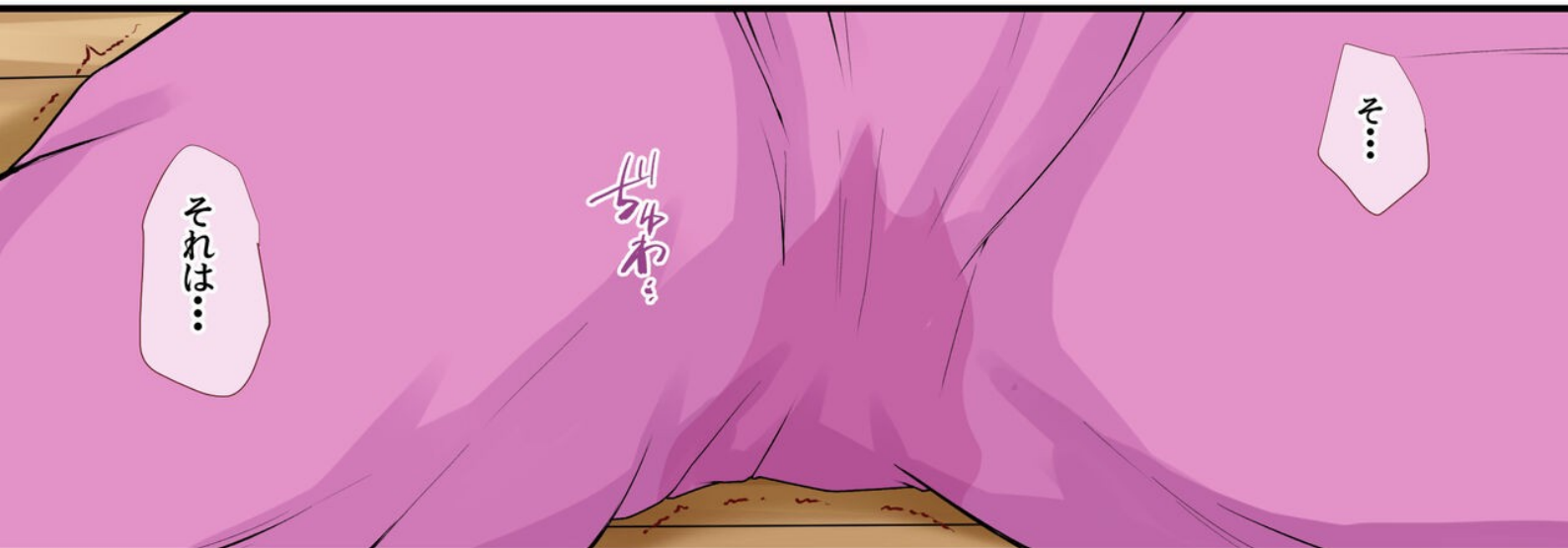
ある日の深夜――













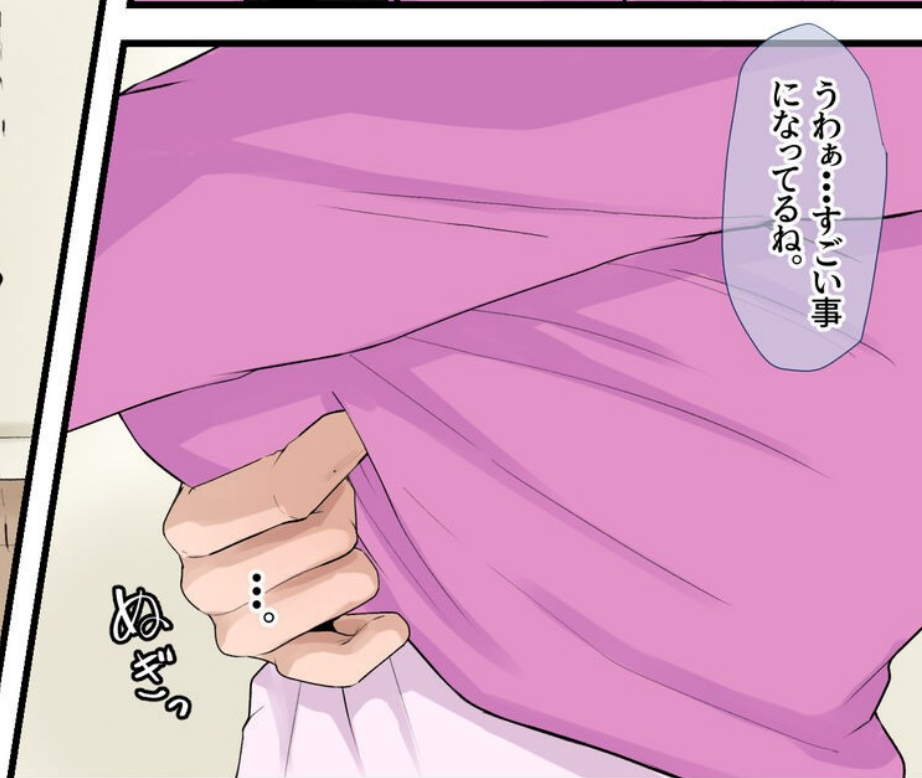
僕のちんぽ嗅いで
興奮しちゃったんだ？

もう一度ちんぽ入れて欲しくて
僕の所に来たんでしょ？



母さん。

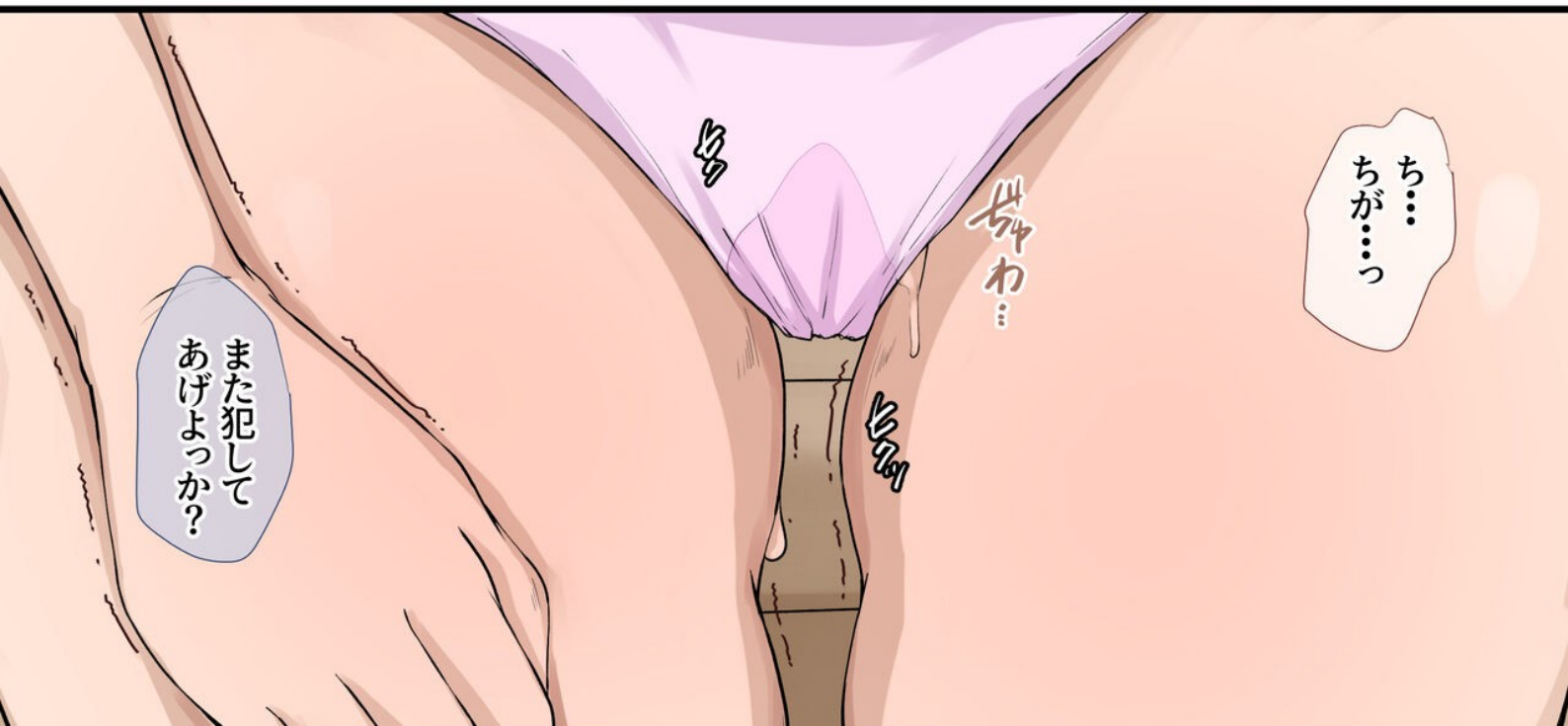
ハア...



うわあ...すごい事
になってるね。

...

ぬぎっ



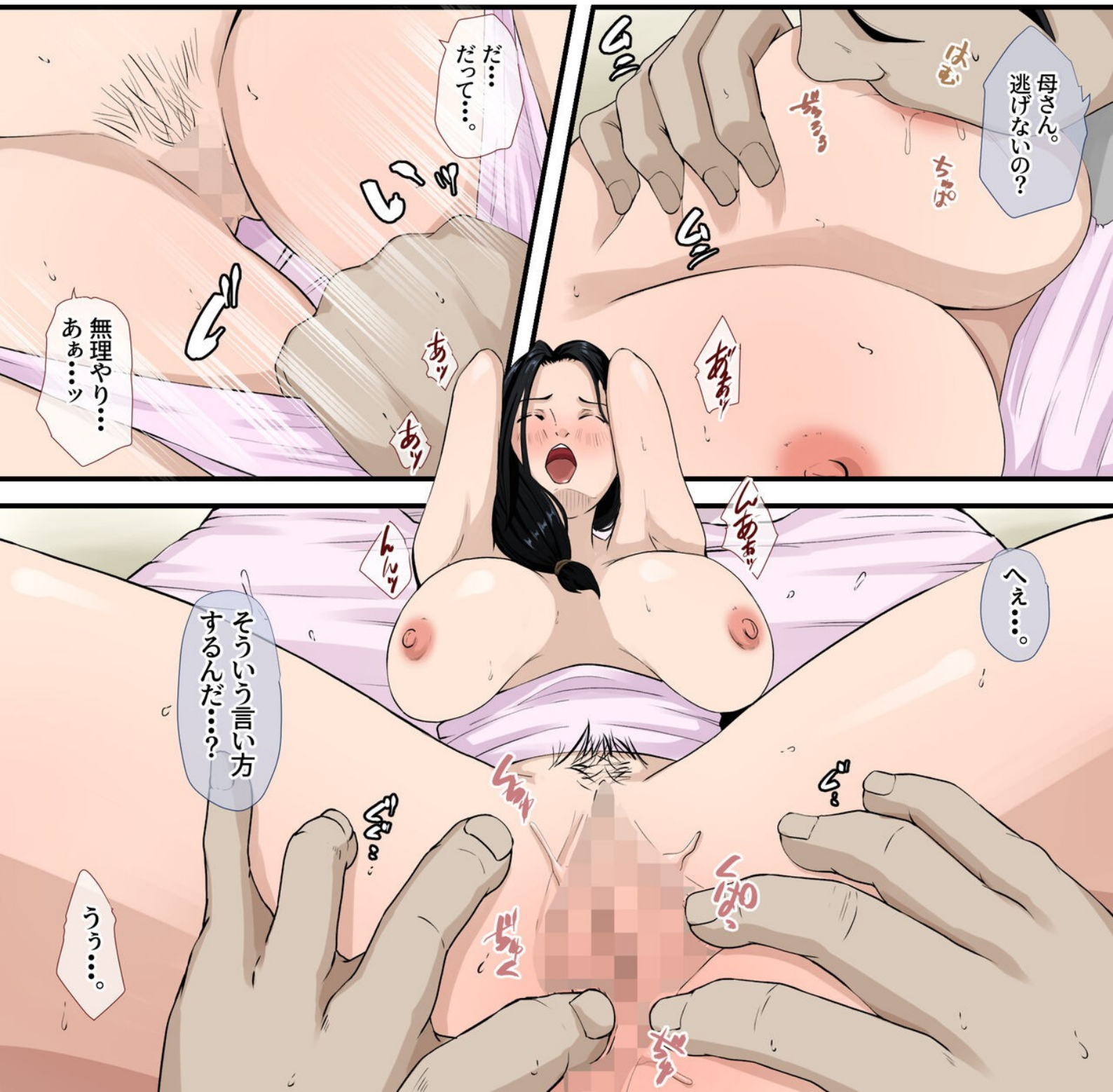
ち...
ちが...

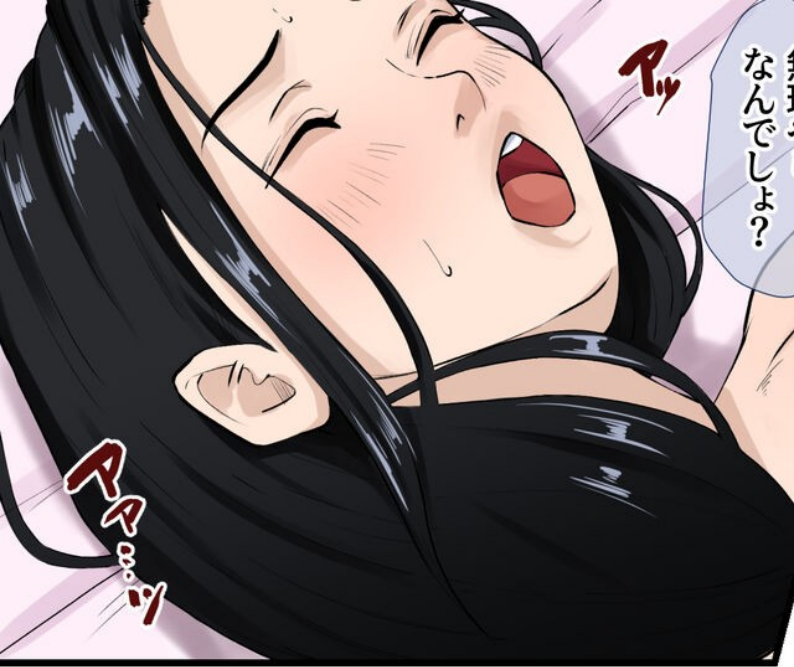
しゃわ...

きん

きん

また犯して
あげよっか？

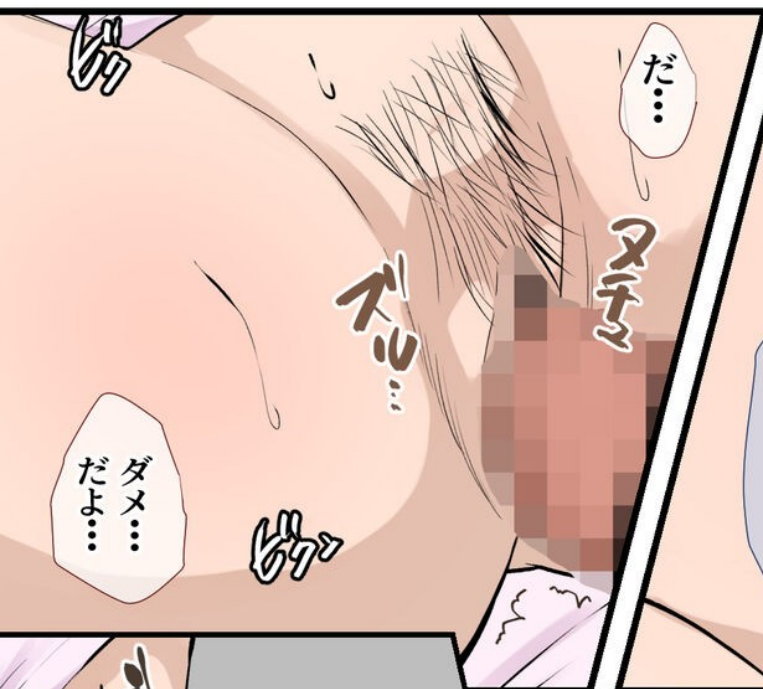




無理やり
なんでしょ？

アッ

アッ...ッ



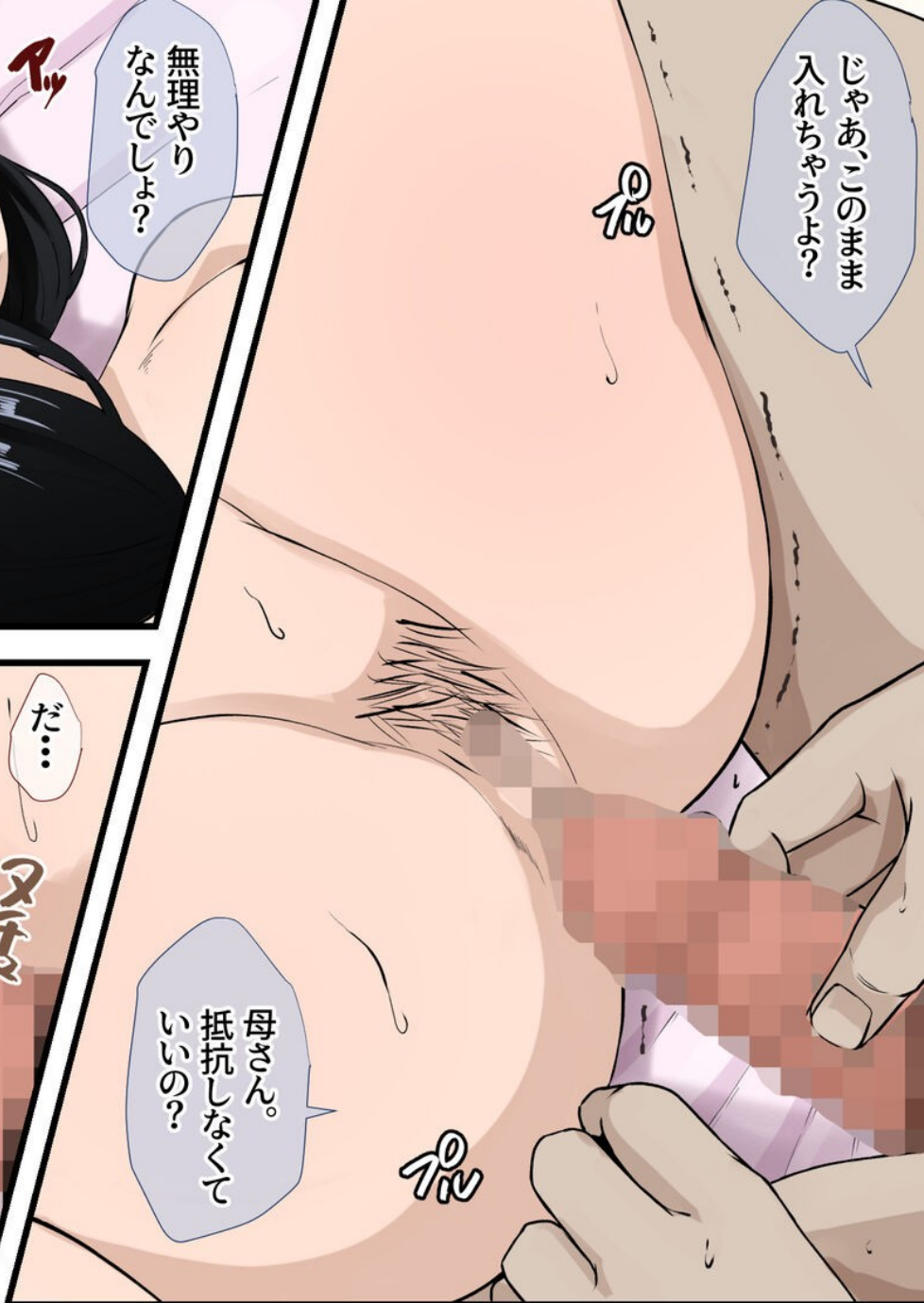
だ...

ヌグ

ブル...

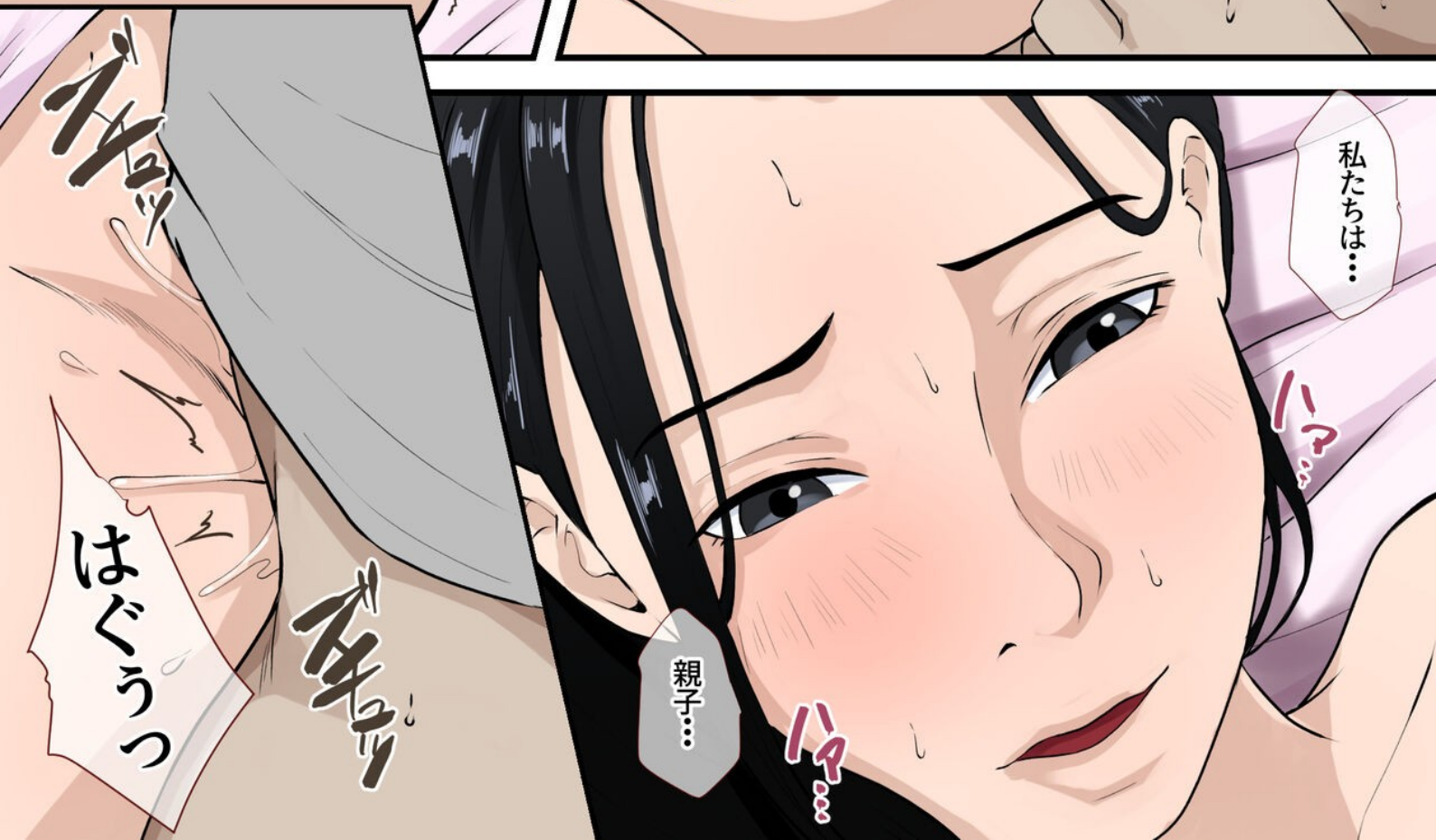
ダメ...
だよ...

ぐぐ



母さん。
抵抗しないで
いいの？

ブル



私たちは...

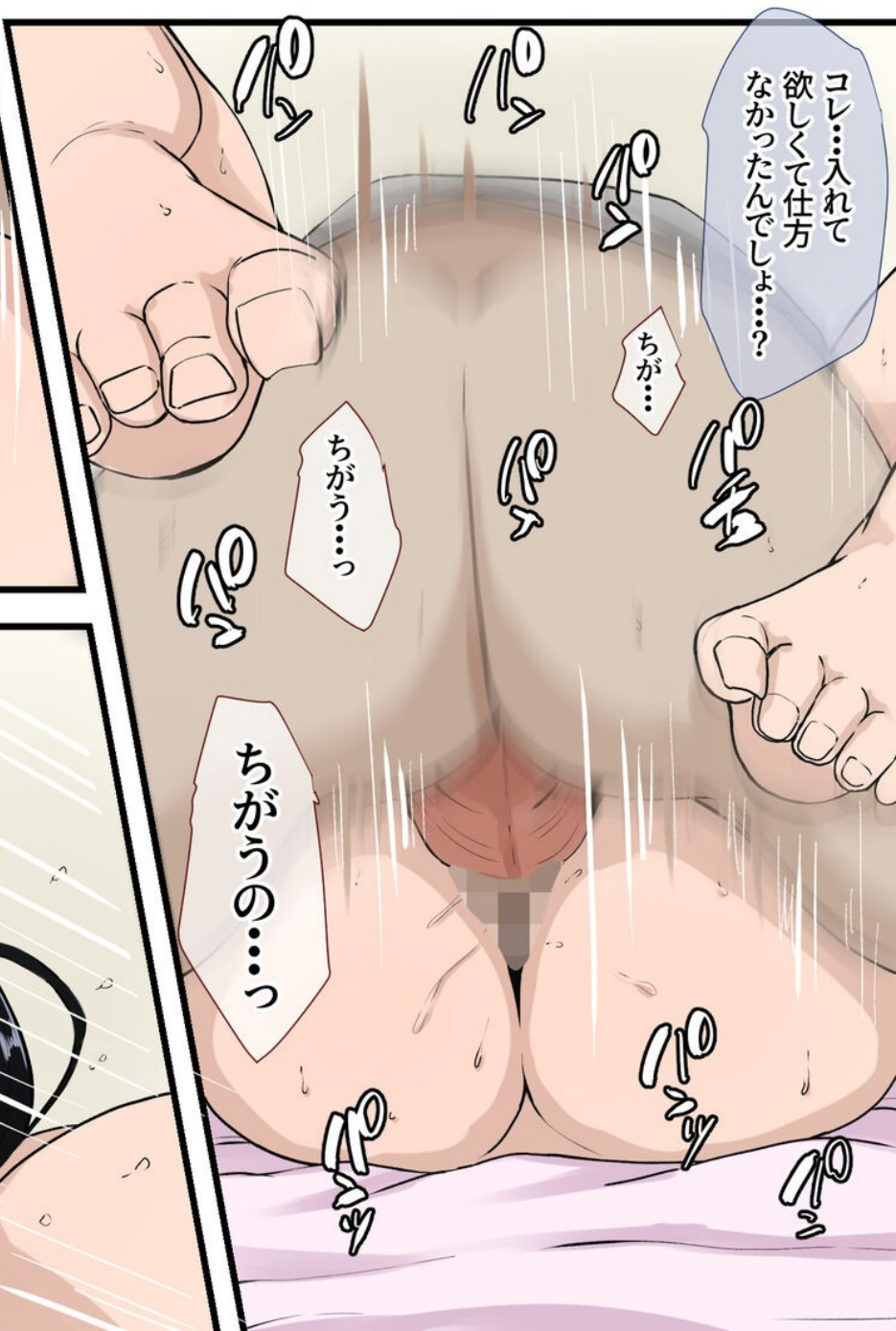
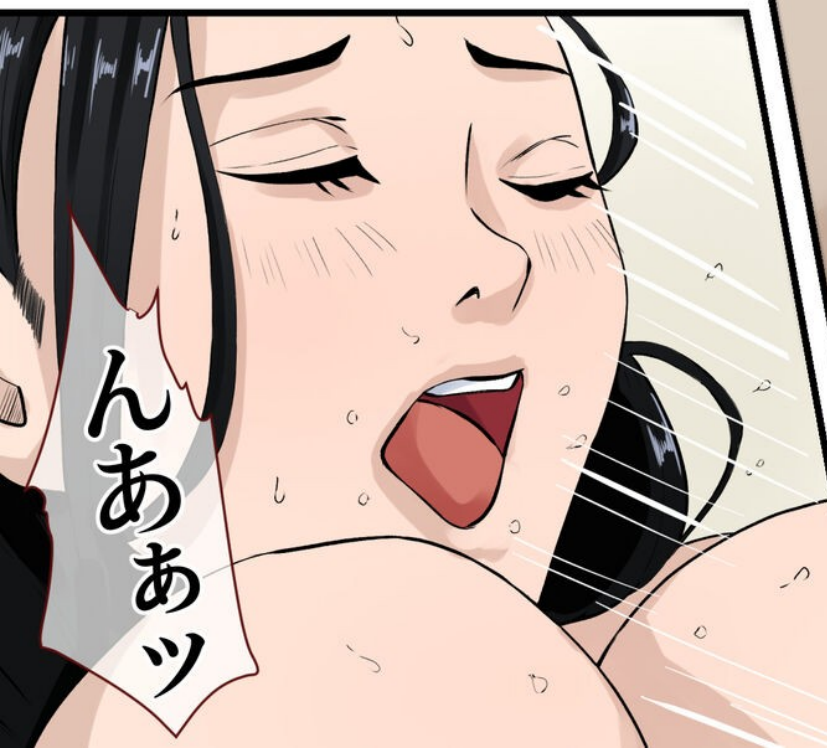
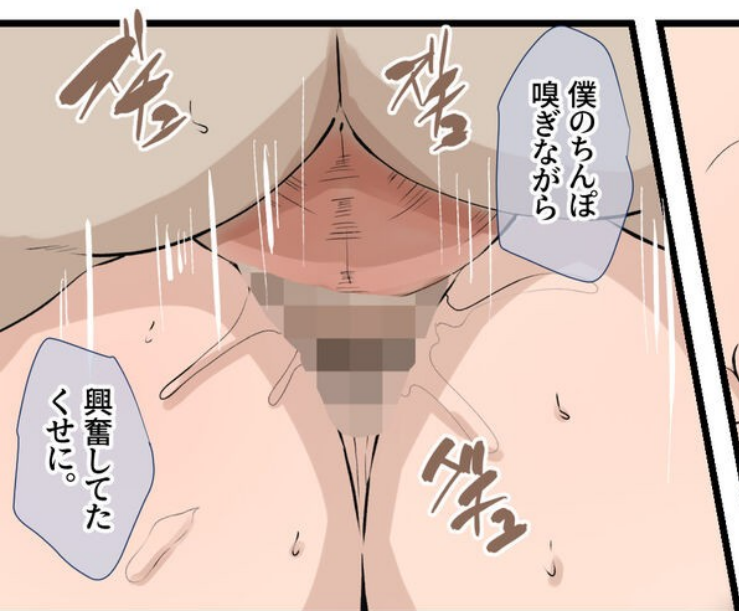
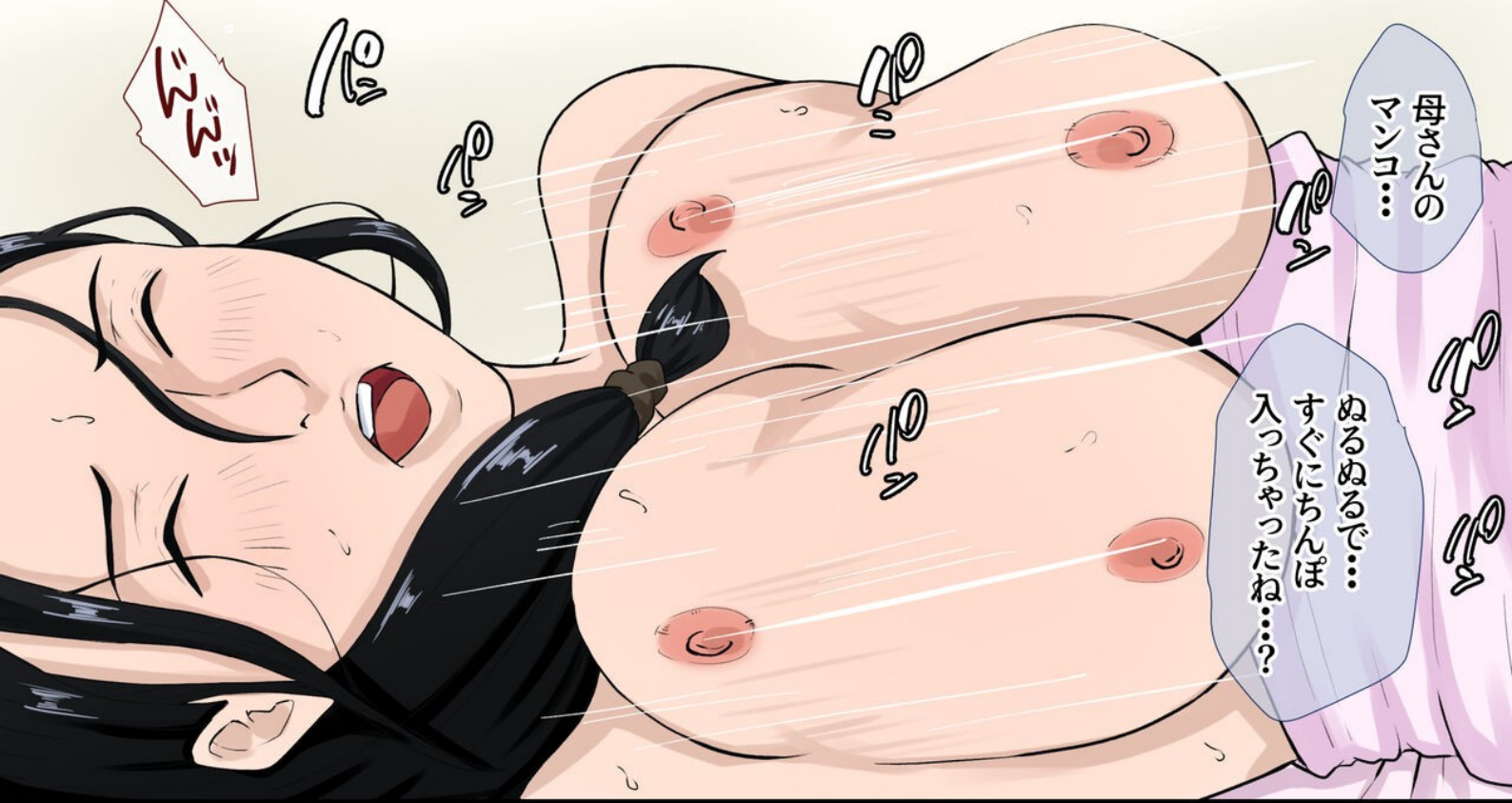
親子...

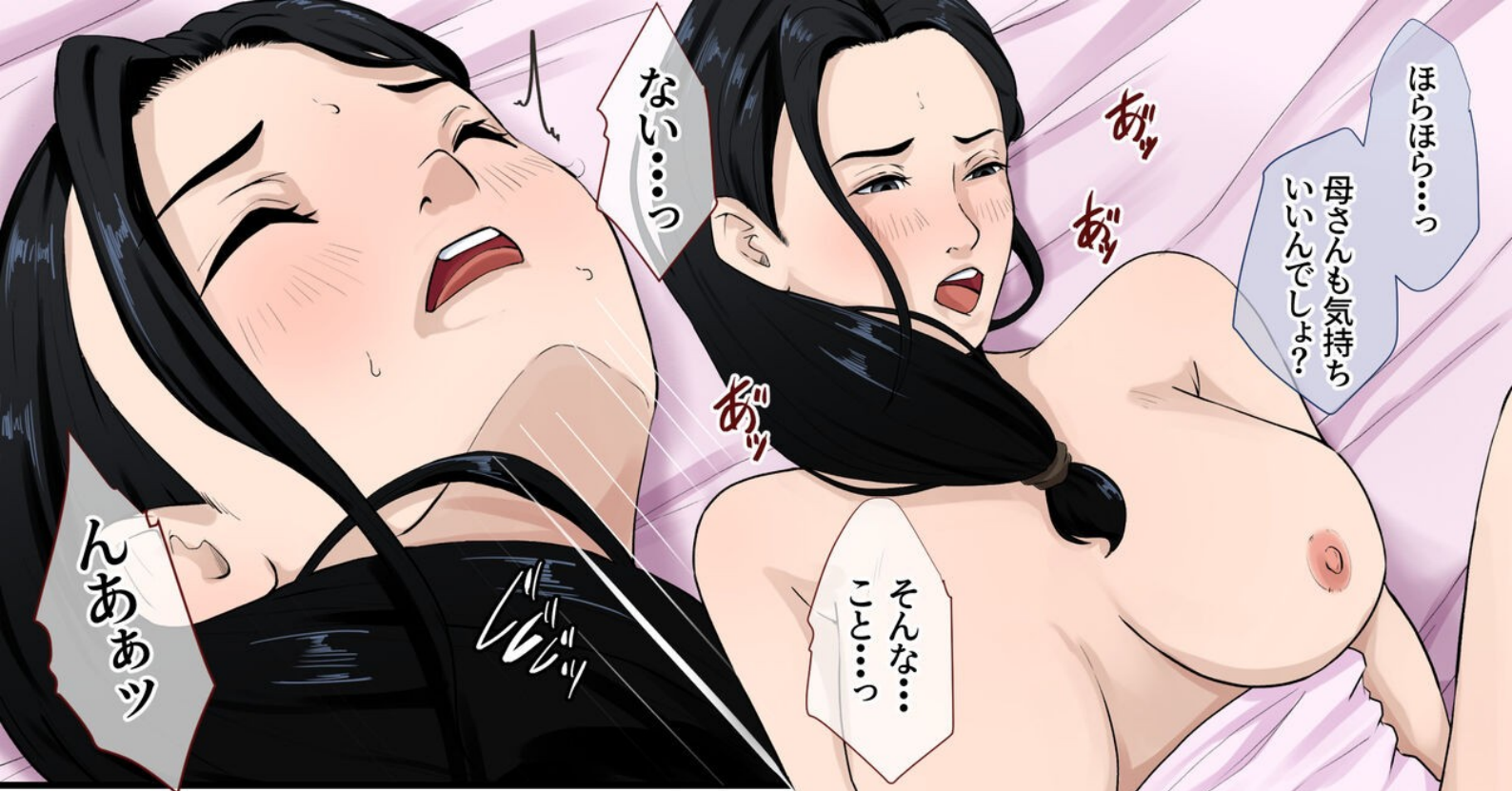
ハッ...

ハッ...

はぐうつ

ハッ...





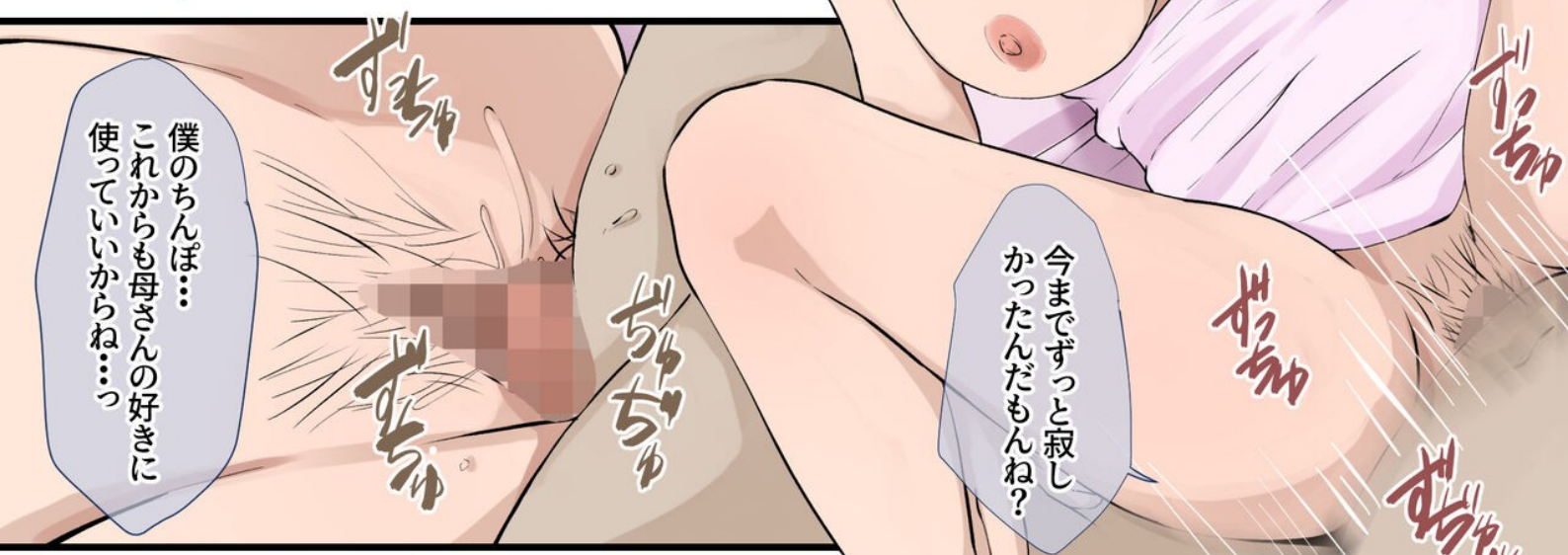
ない……っ

あッ
あッ

ほらほら……っ
母さんも気持ち
いいんでしょう？

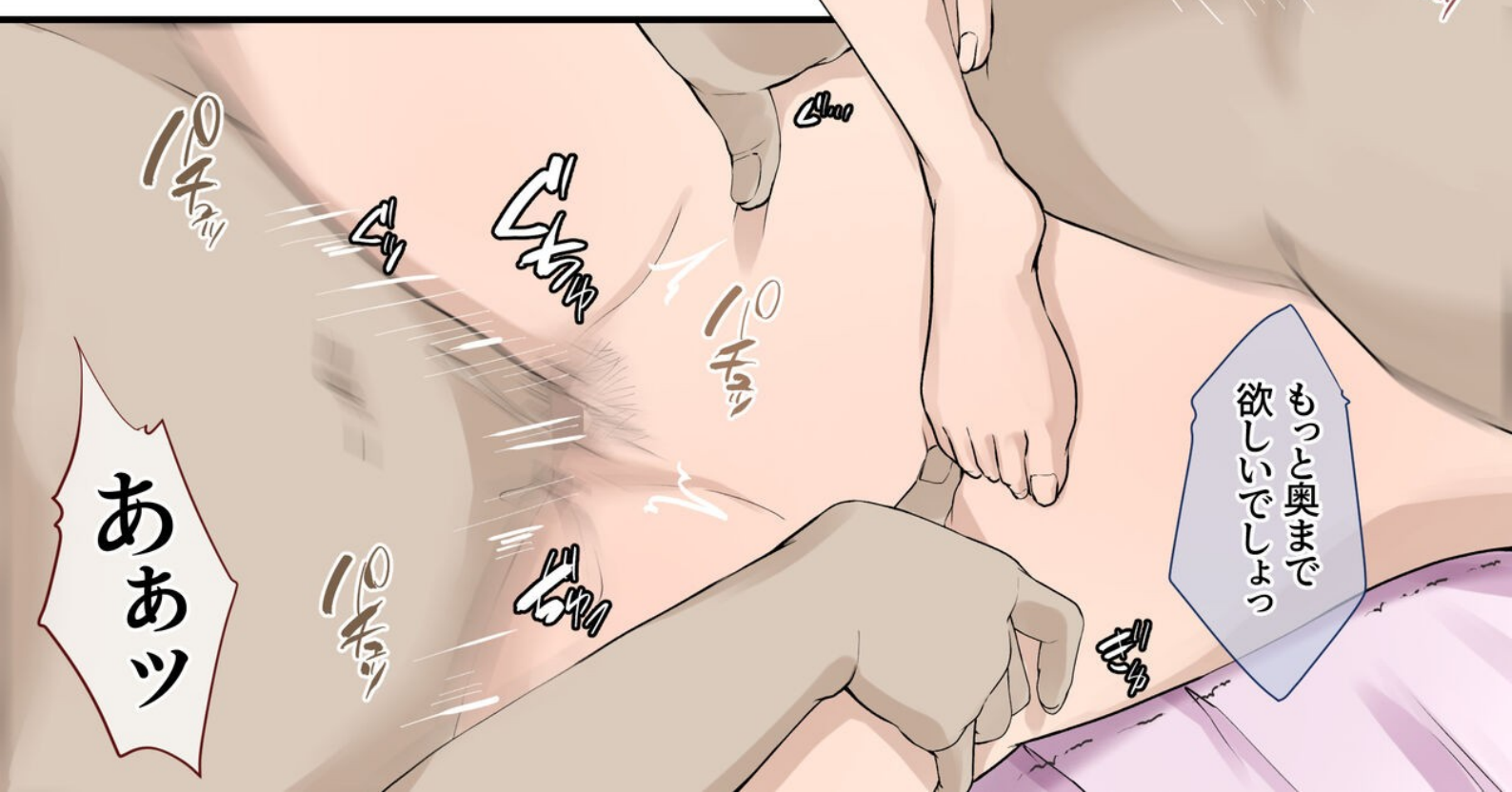
そんな……
こと……っ

んああッ



僕のちんぽ……
これからも母さんの好きに
使っていいからね……っ

今までずっと寂し
かったんだもんね？



もっと奥まで
欲しいでしょっ

ああッ

ダメ...

いんが...

だめだめ
ダメえっ

いっちやうツ!!

い...

ガク

ガク

びん

びん

ガク

びん

びん

あひッ

ガク

何がダメ
なんだか...

母さんが締めるから
すぐイッちゃったよ。

はあ...っ

はあ...っ

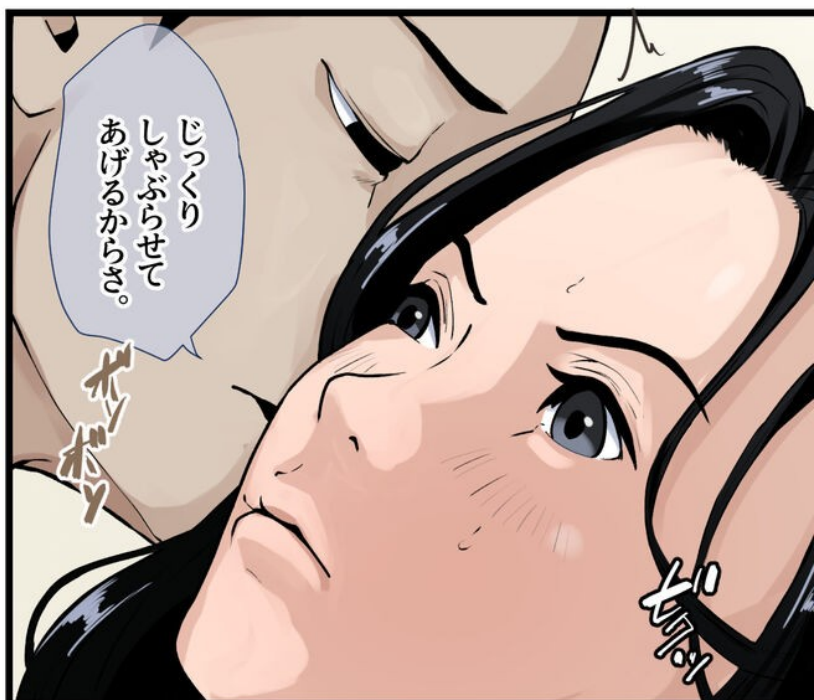
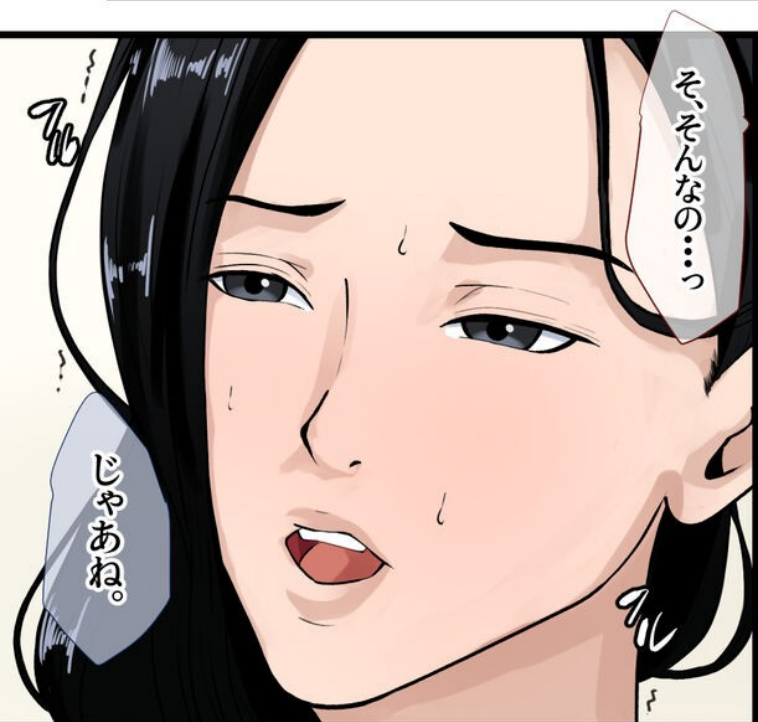
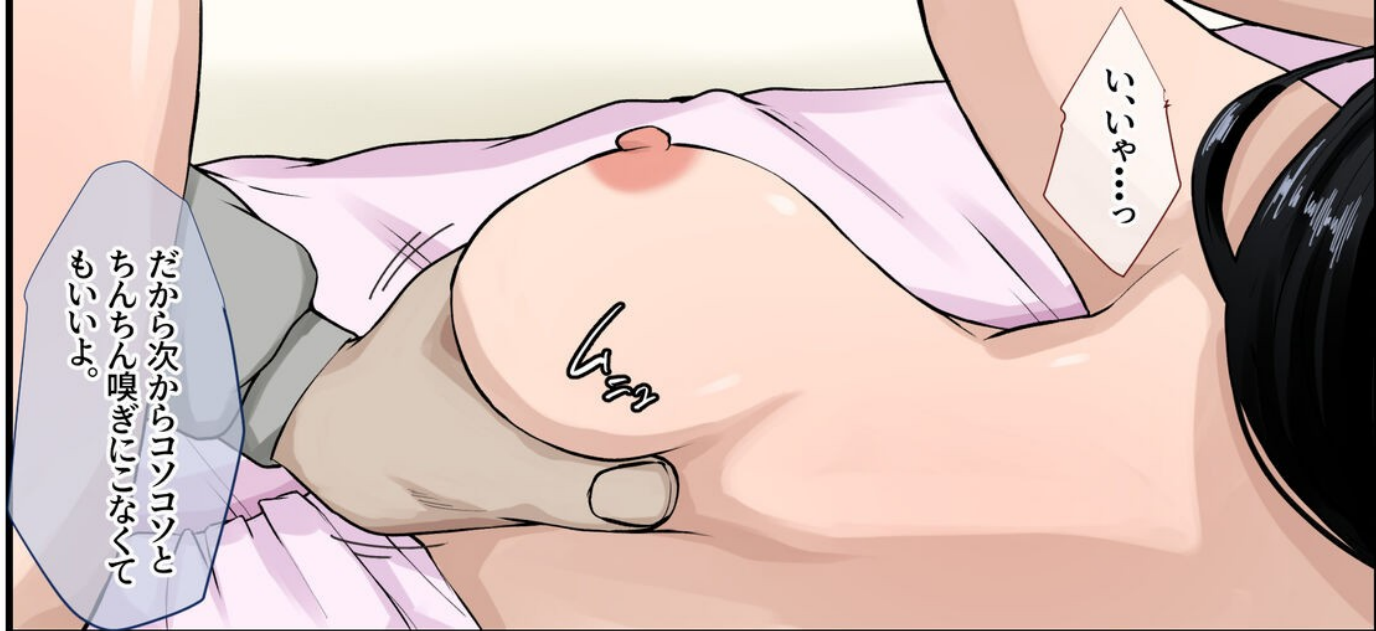
どうだった？

母さんが嗅ぎ
ながらオナニー
してた、ちんちん。

気持ち良か
ったでしょ？

これからは、一人で我慢
しなくていいからね。

いつでも僕が
母さんを気持ちよく
させてあげるから。



次の日から僕と母さんは
毎日の様にセックスした。

いや……

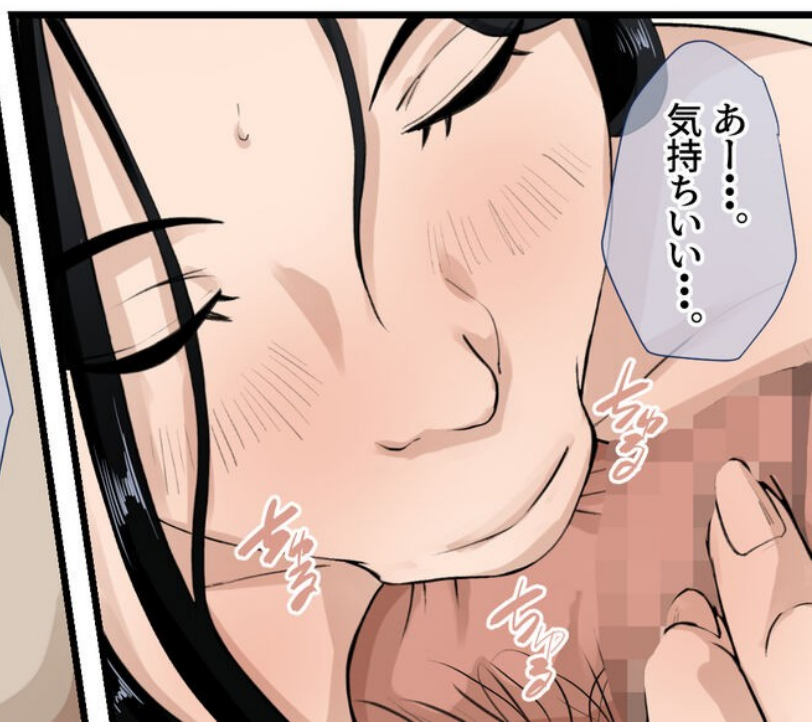
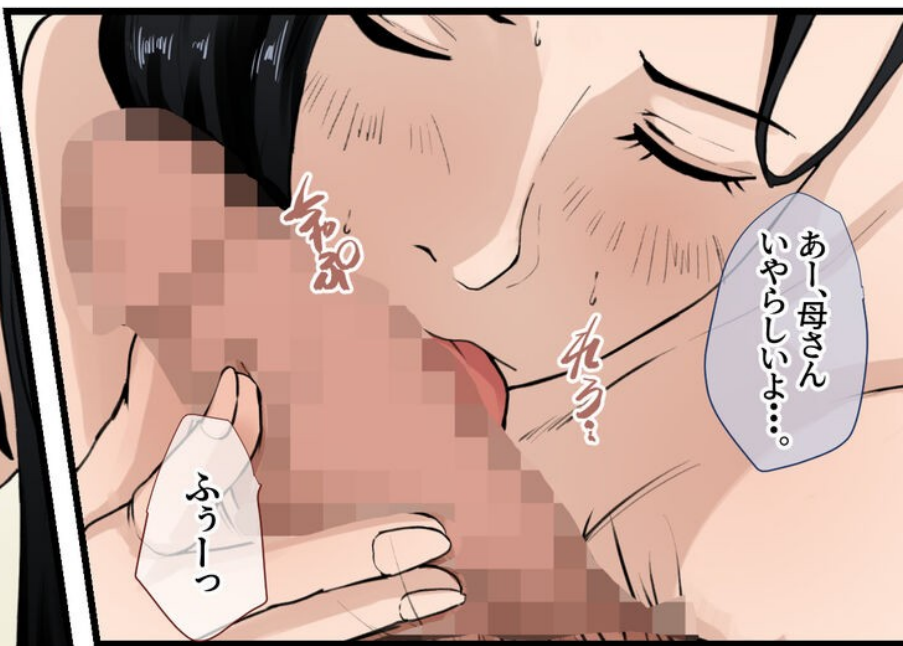
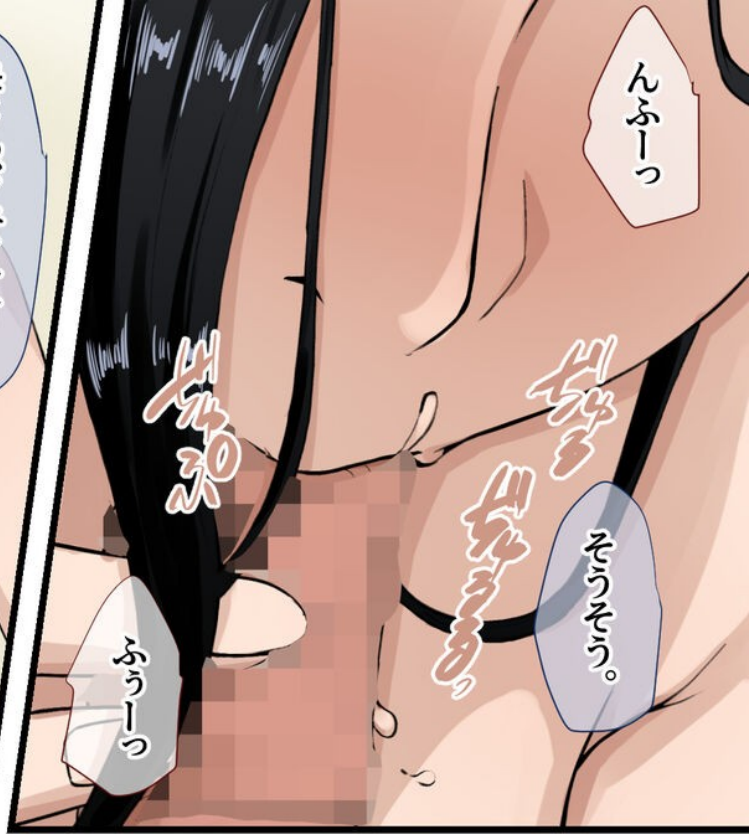
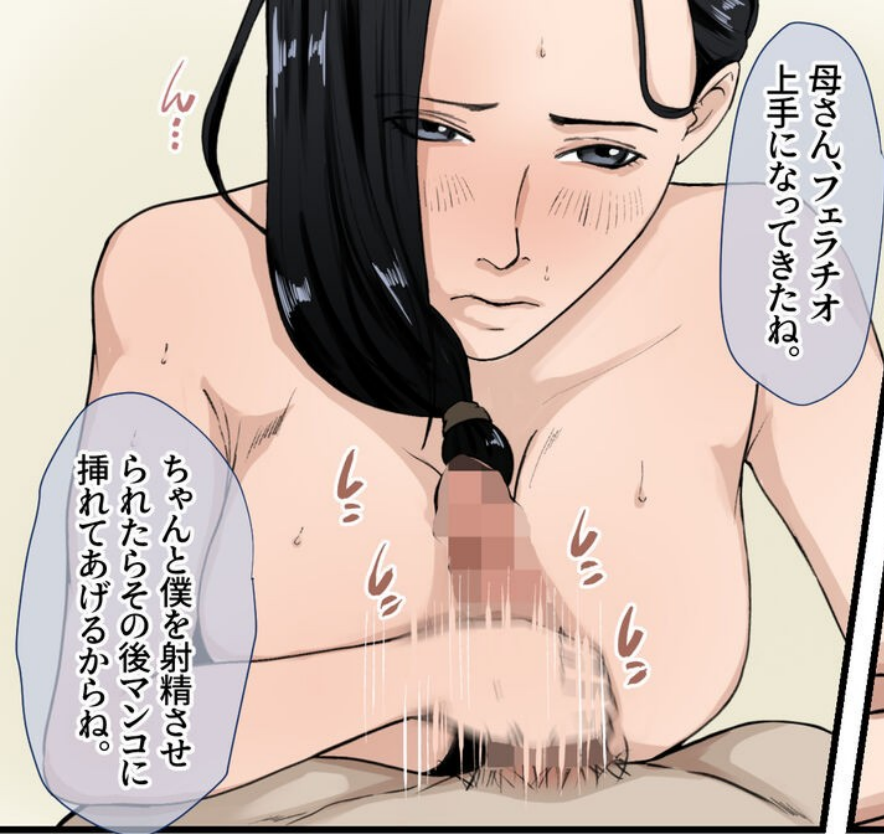
やめ……てっ

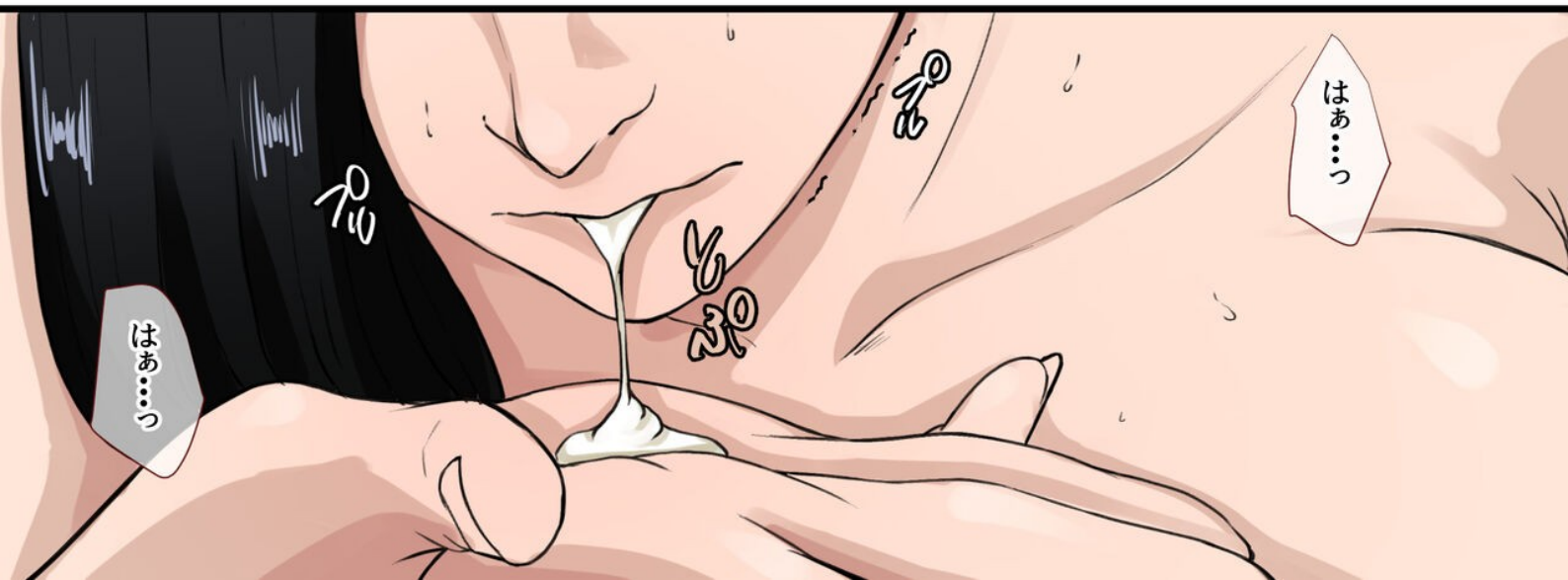
ダメ……よっ
お母さんパートに
行かないと……

いいじゃん。
すぐ終わるから。

んんん……

回では嫌がりながらも、
母さんの身体は確実に
悦んでいた。







次第に母さんも僕を
拒まなくなっていた。

はあ…っ

はあ…っ

母さん、気持ちいいっ
気持ちいいよ…っ
母さんの中、すく…っ

はあ…っ

はあ…っ

はあ…っ

はあ…っ



ああ…っ
母さん、出すよ…っ

いい…っのまま、
出しちゃうよ…っ

だ…だめよ…

はあ…っ

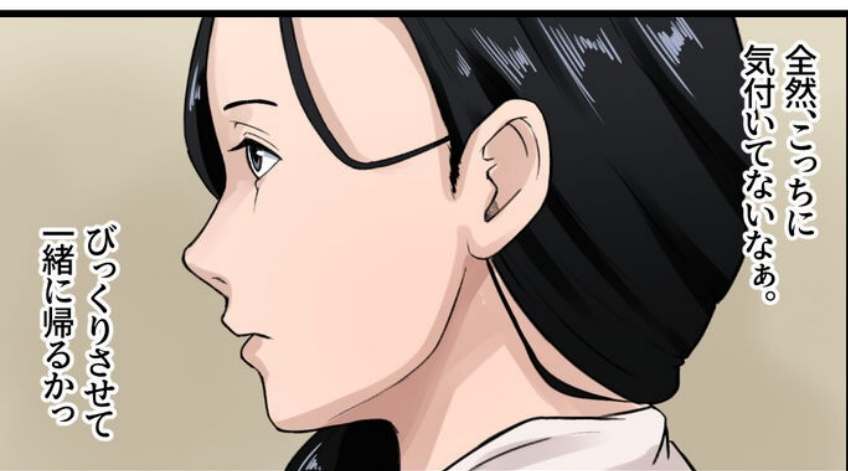
はあ…っ

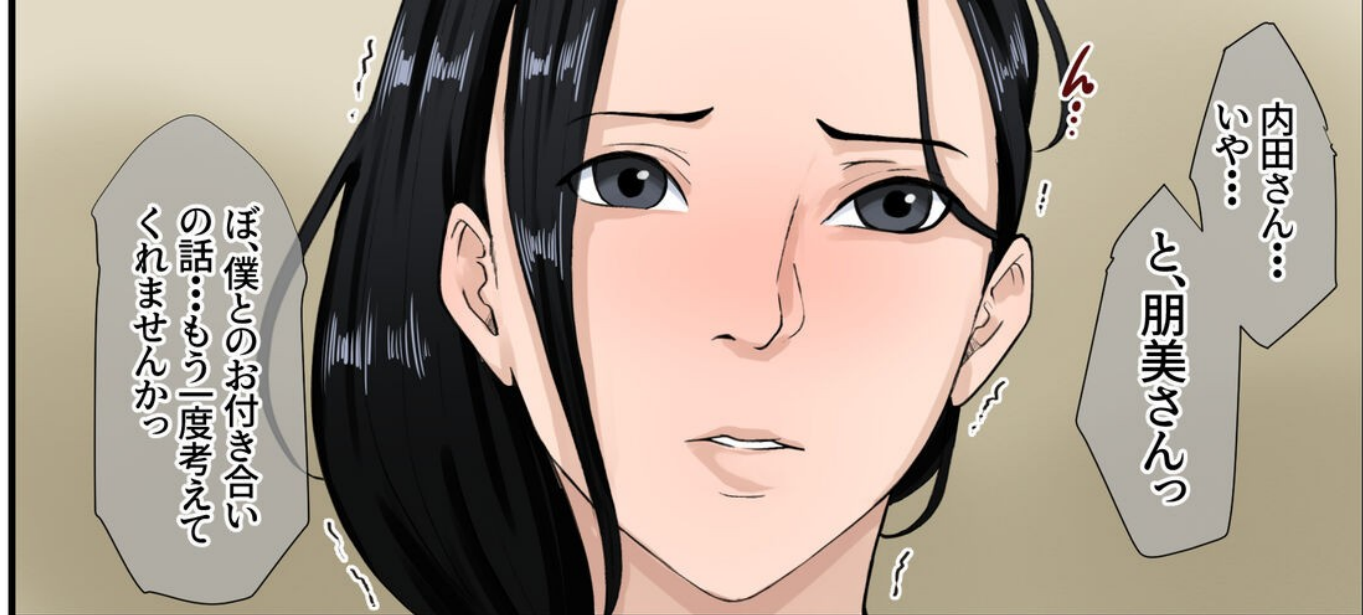
はあ…っ

中は…
だ…っ

んんぐうッ!!

母さんと僕は愛し合っていた…





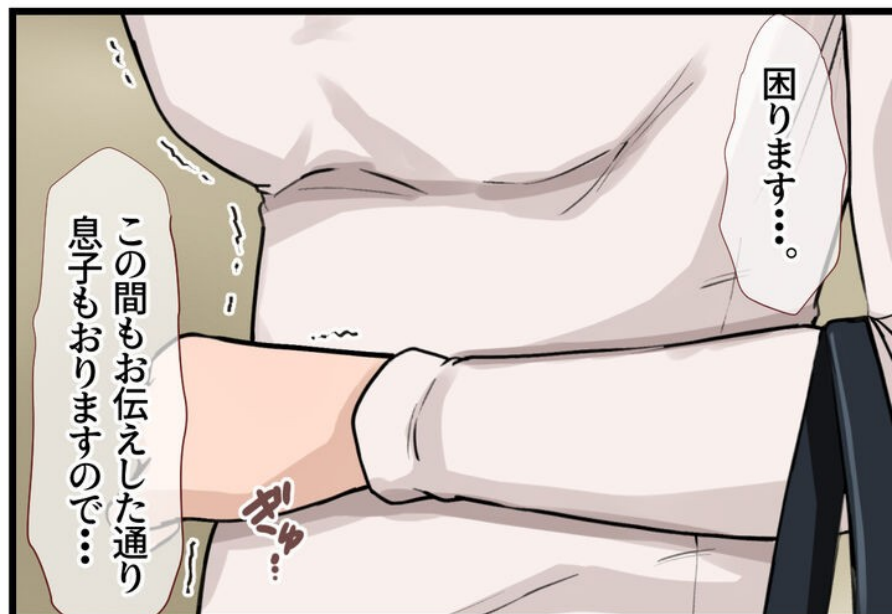
内田さん…
いや…

と、朋美さんっ

ぼ、僕とのお付き合い
の話…もう一度考えて
くれませんかっ

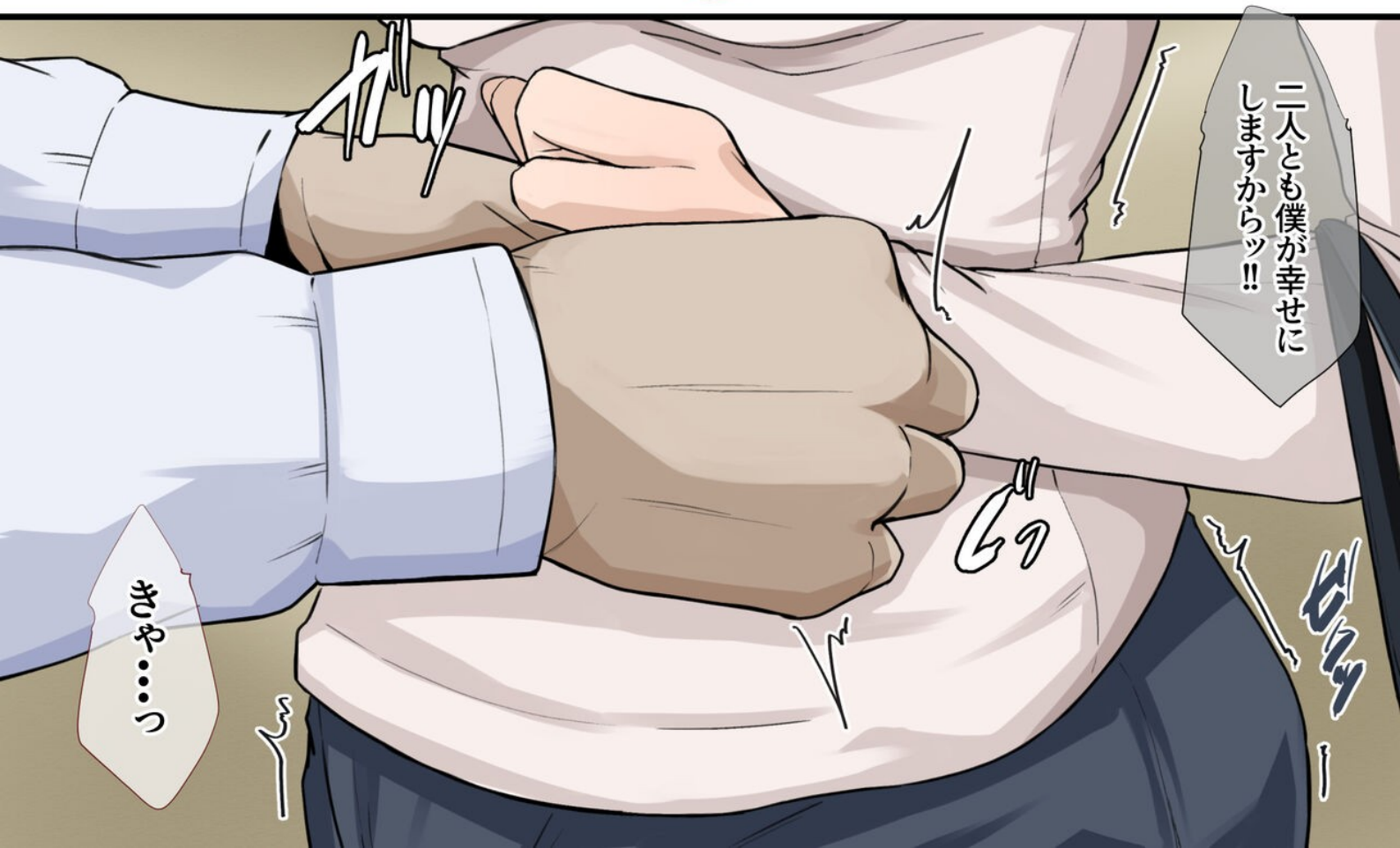


もちろん、正人君の事も
ちゃんと面倒みますっ



困ります…。

この間もお伝えした通り
息子もおりますので…



二人とも僕が幸せに
しますからッ!!

きゃ…っ

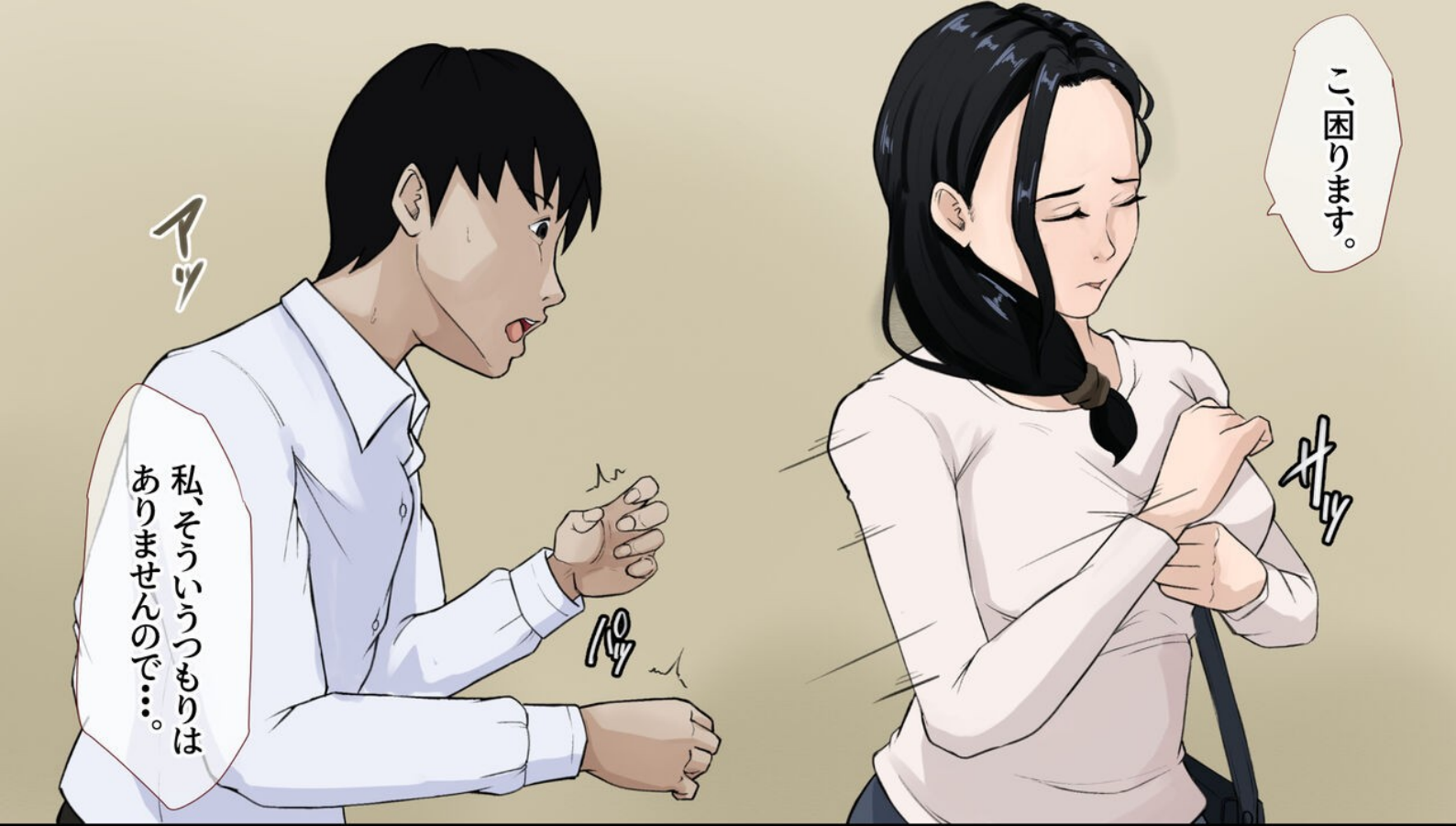


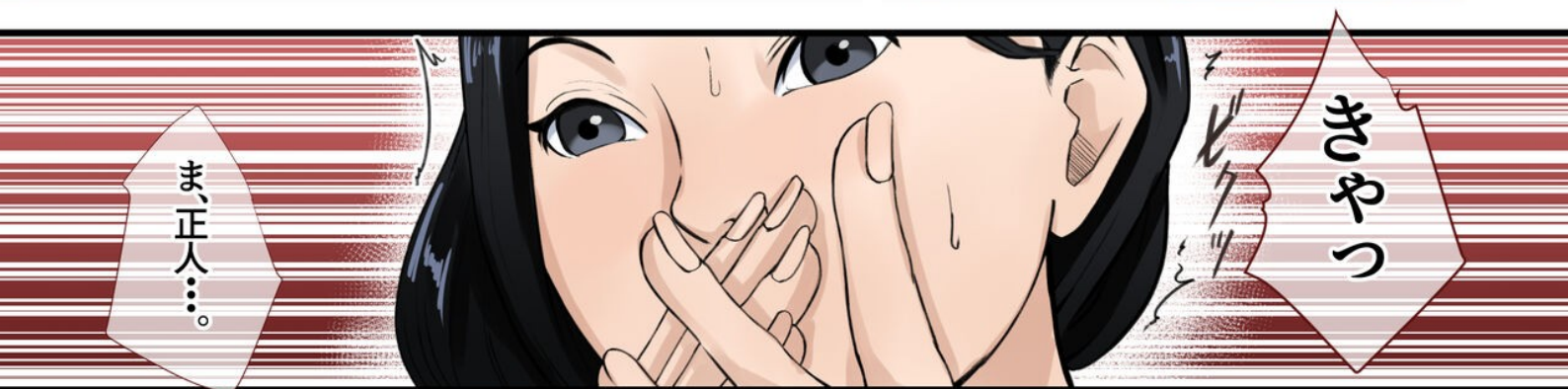
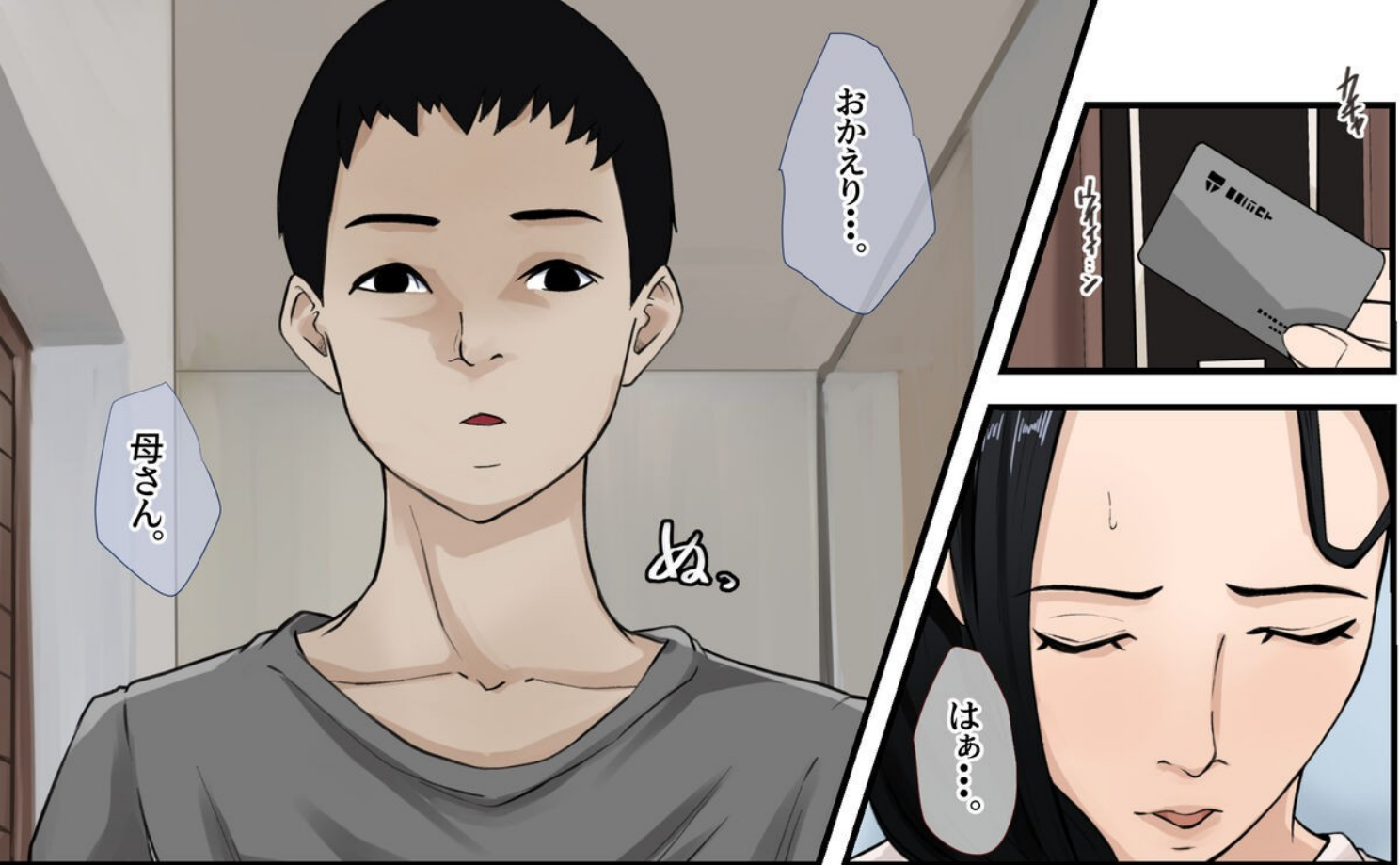
今さら新しい父親なんて
要らねえぞ…っ

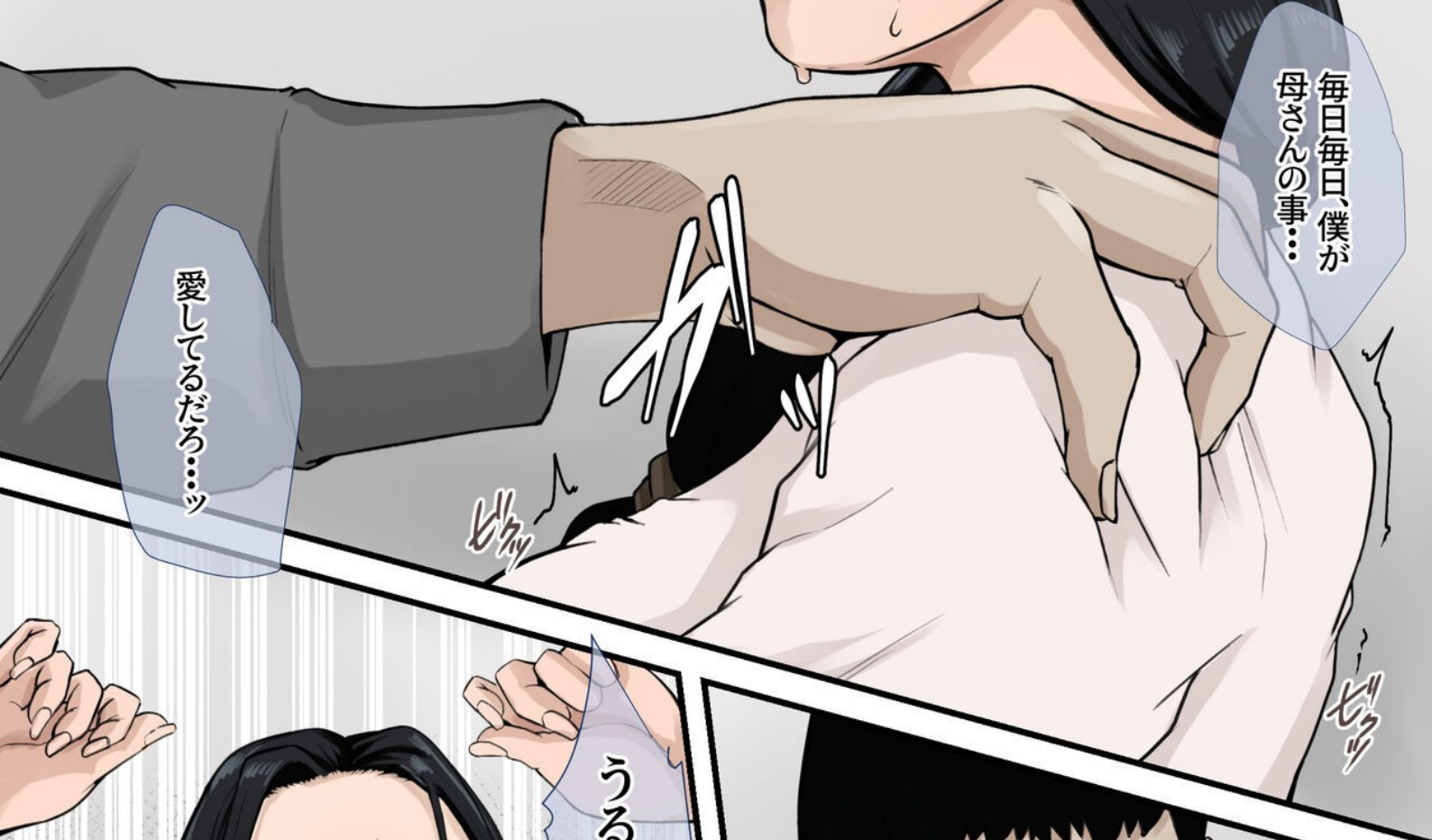
母さん…
何やってんだよ…っ

あれだけ毎日抱いて
あげてるって言うのにな

…おしおきが
必要だな…。







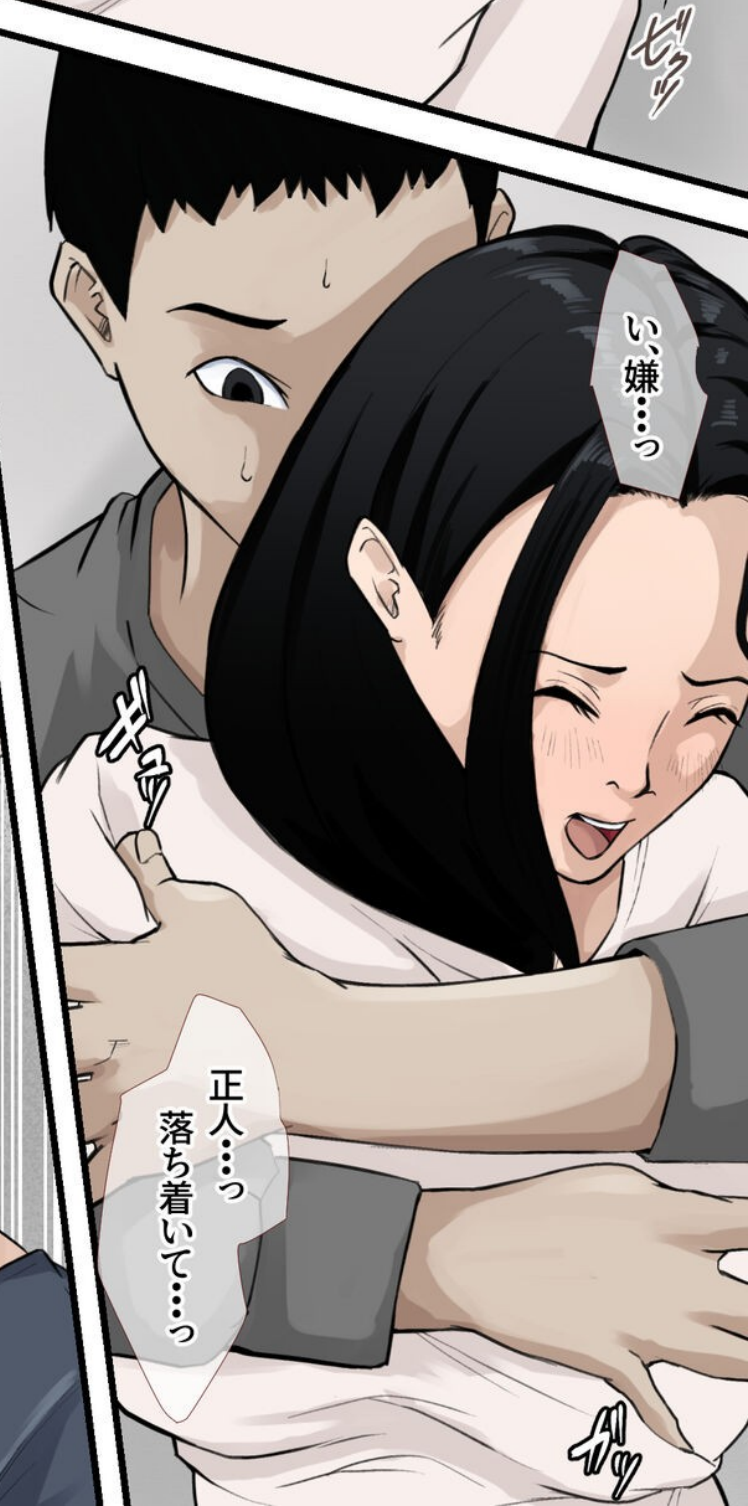
毎日毎日、僕が
母さんの事...

愛してるだろ...



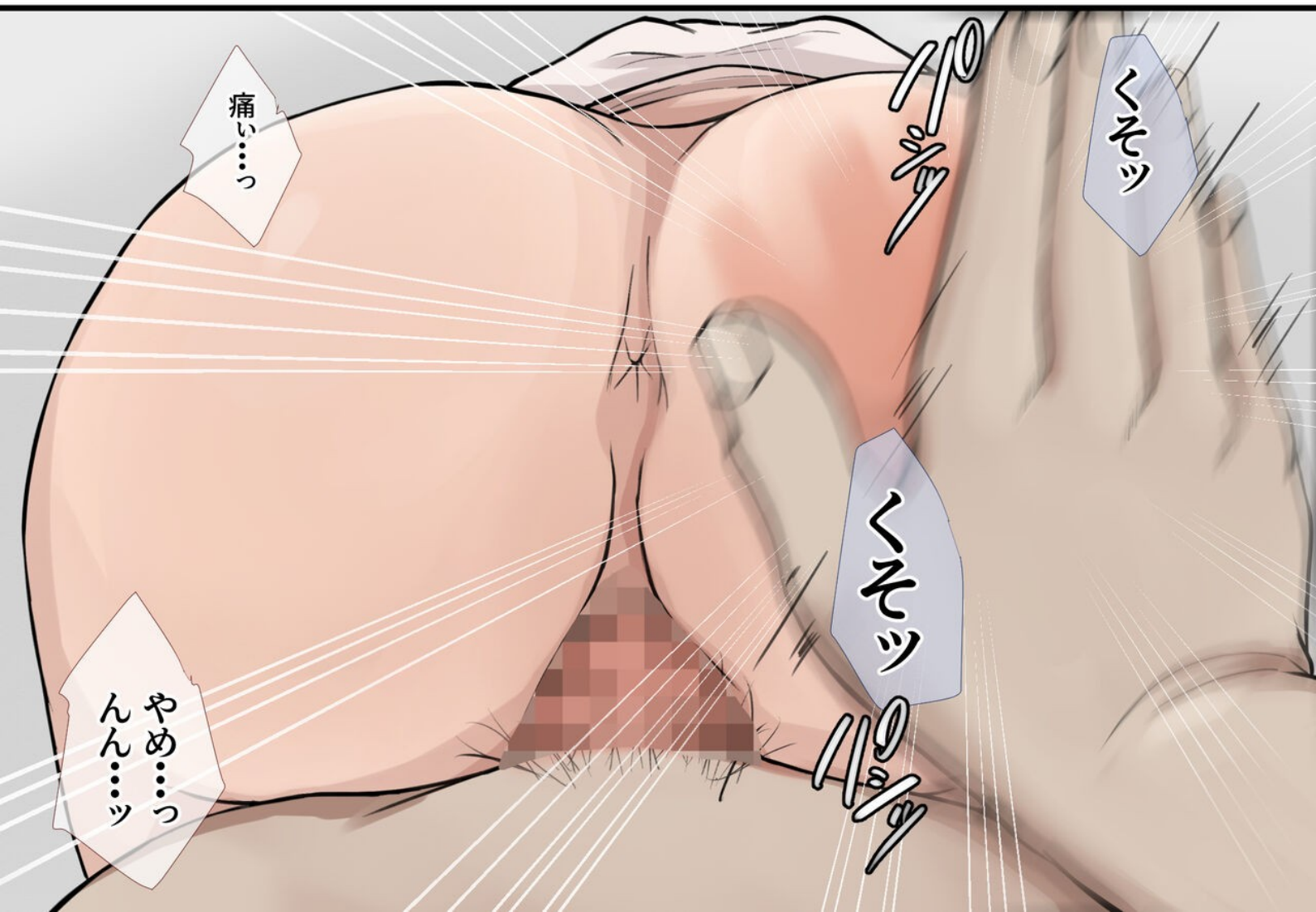
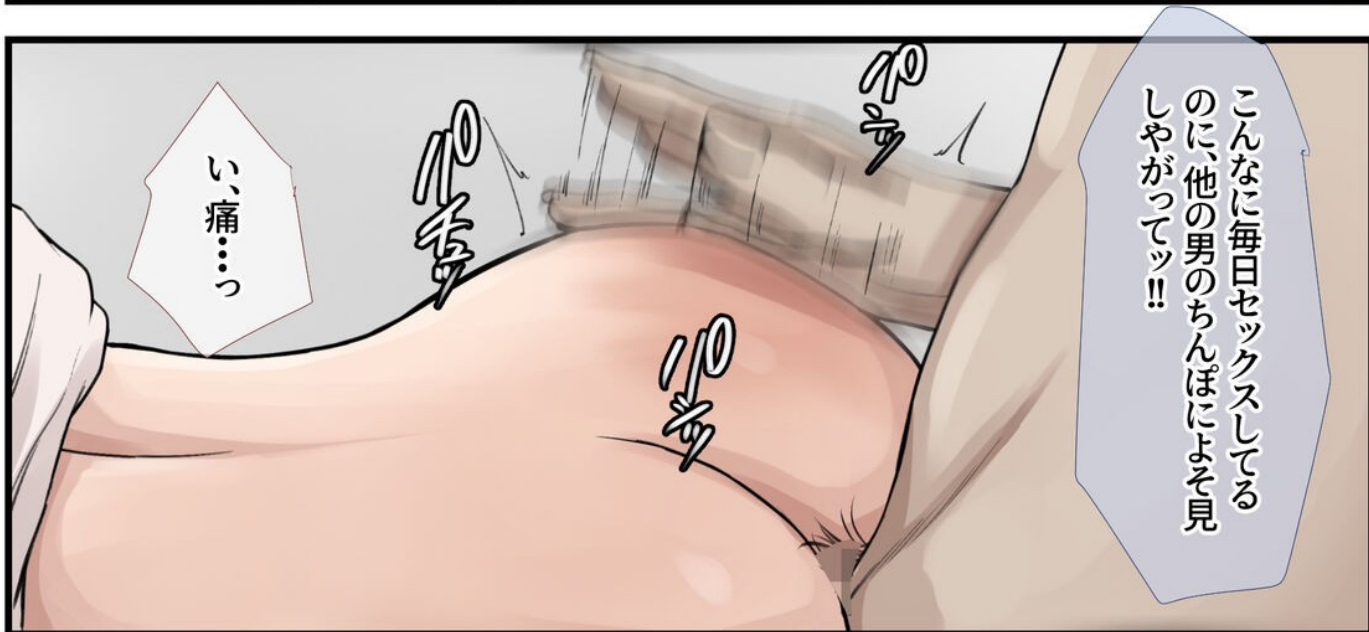
うるせえッ

今すぐ脱げッ

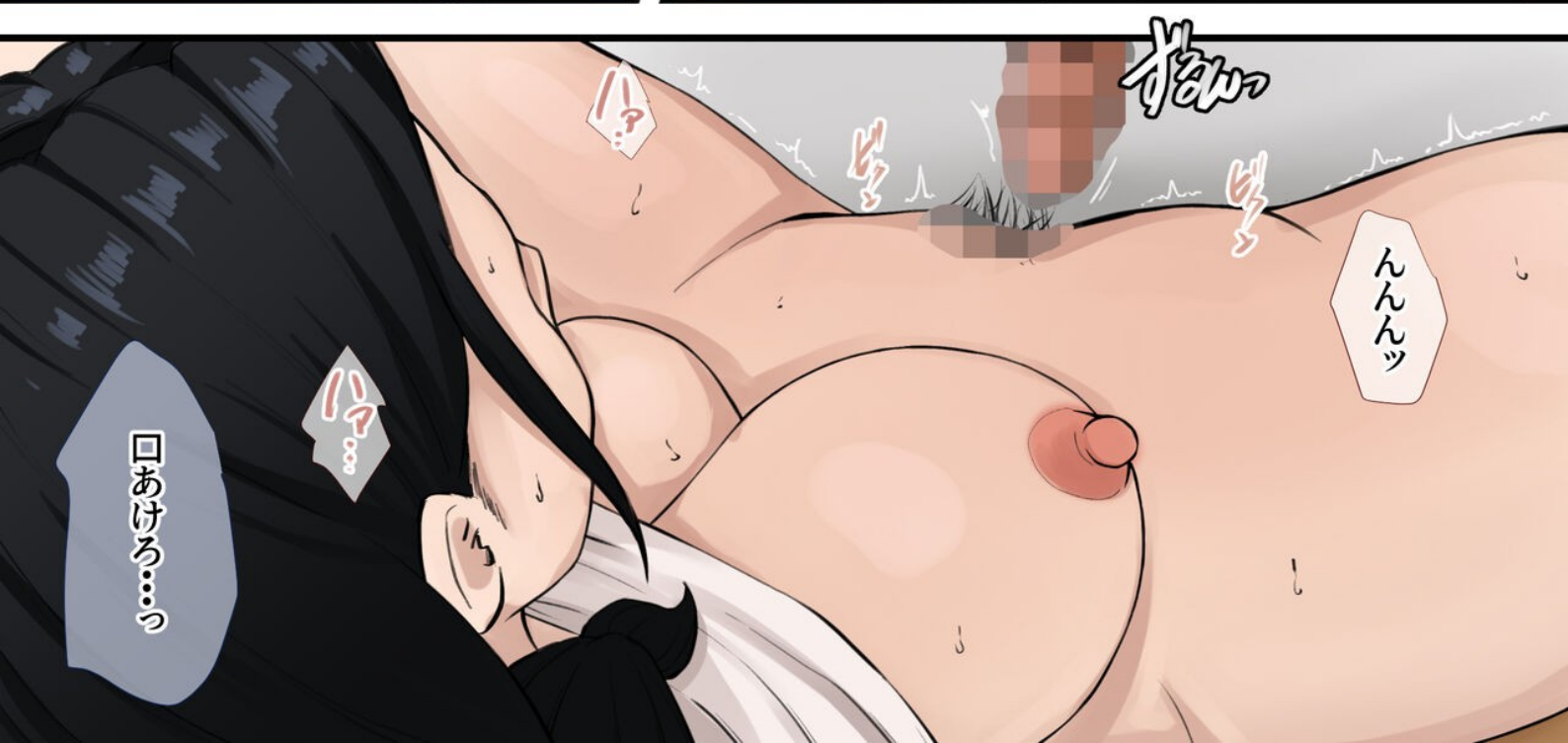
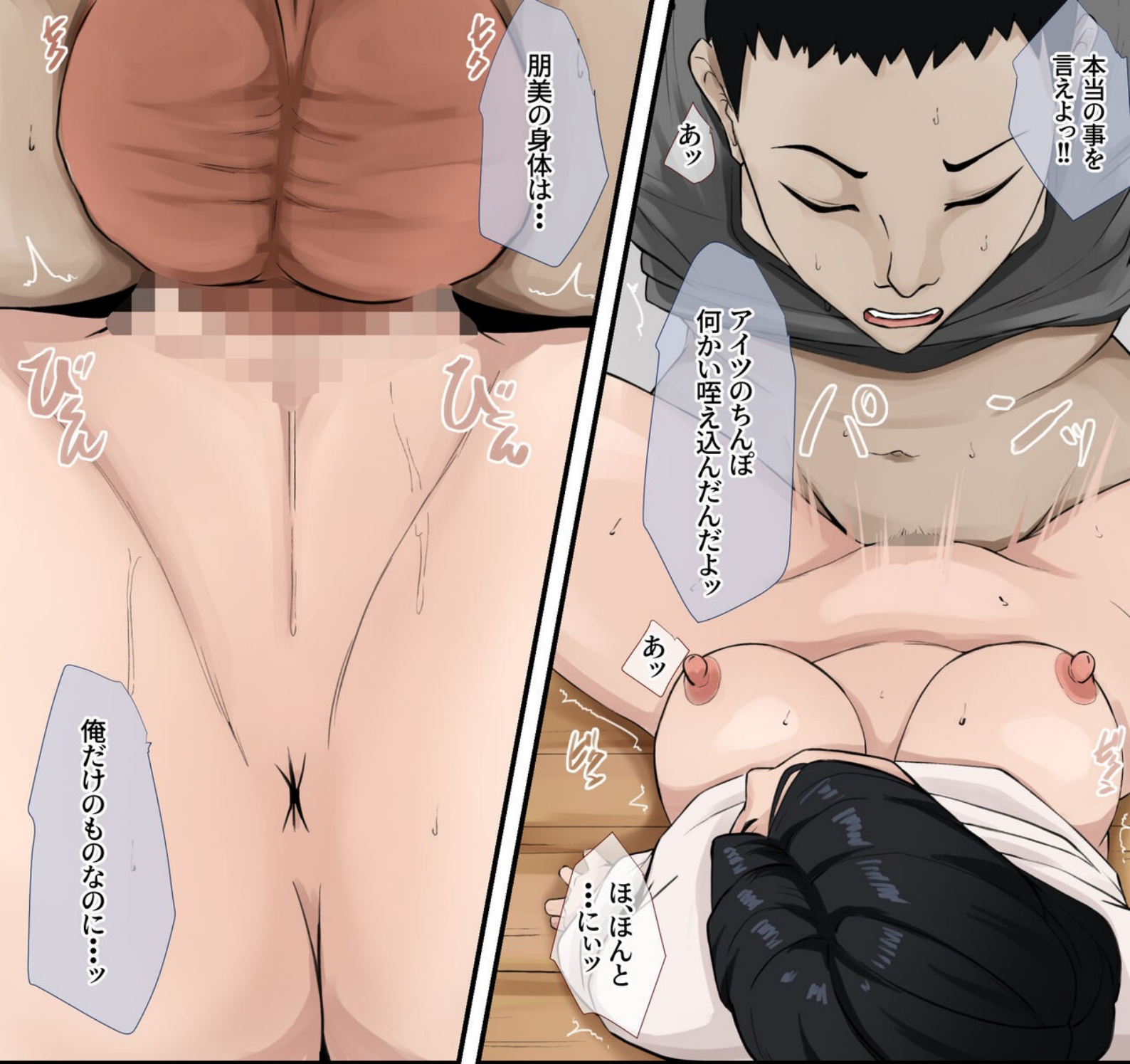


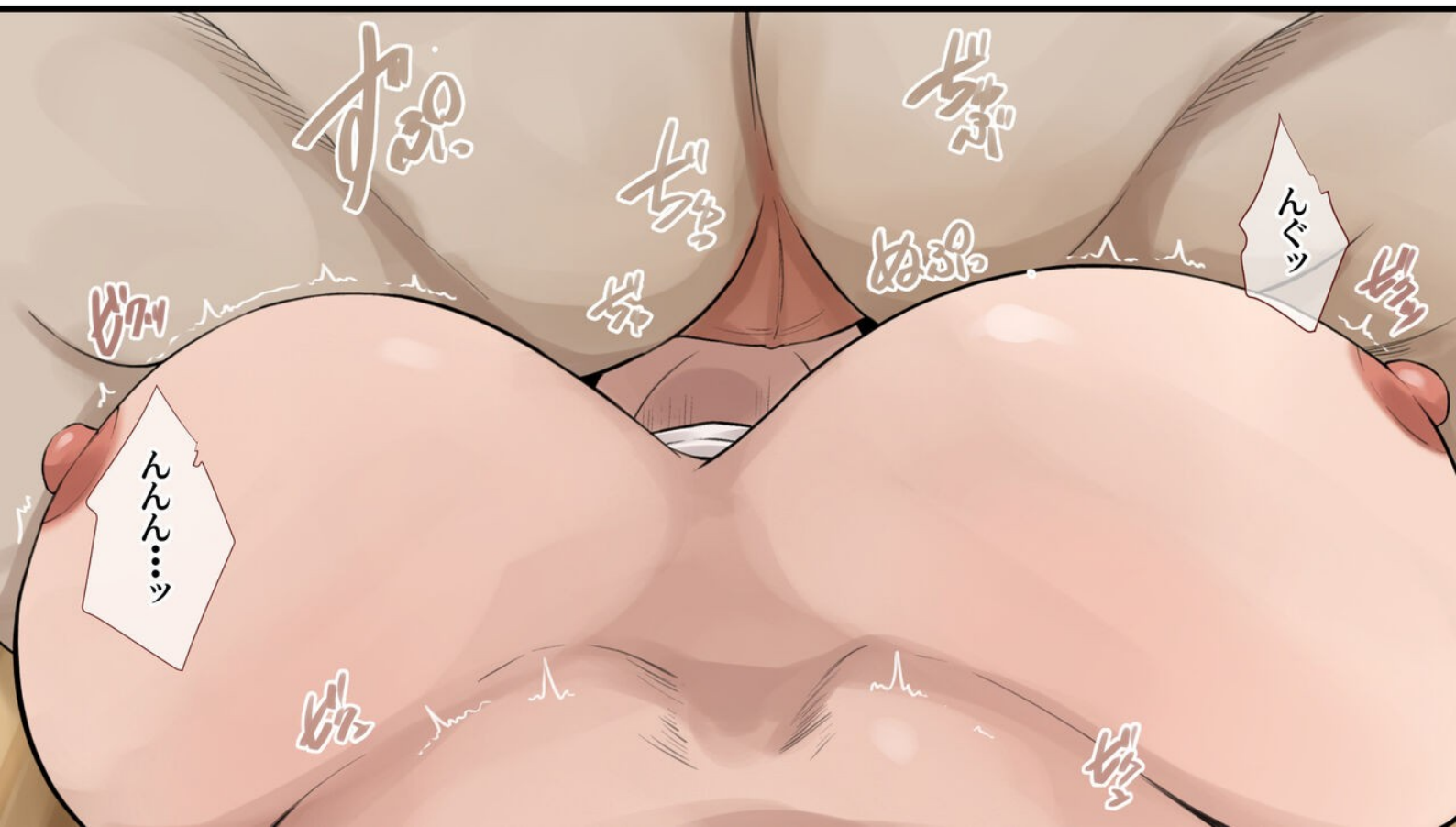
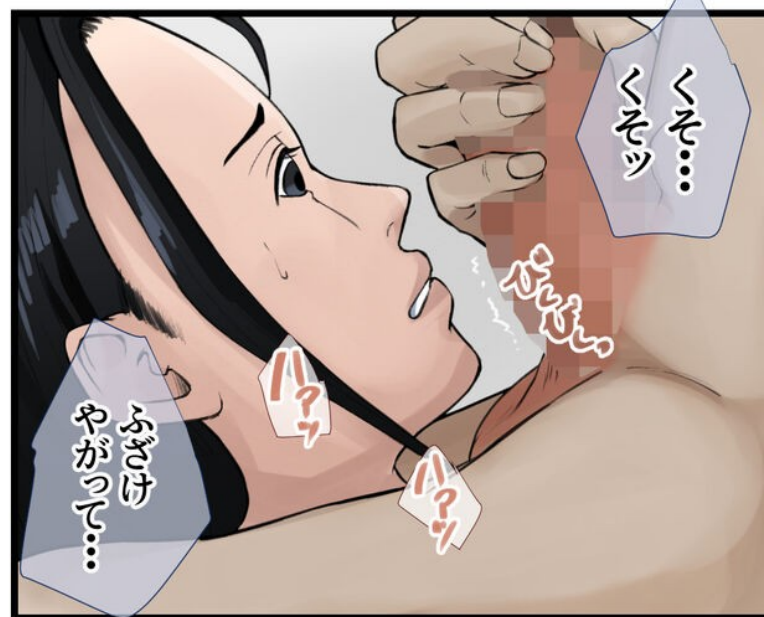
い、嫌...っ

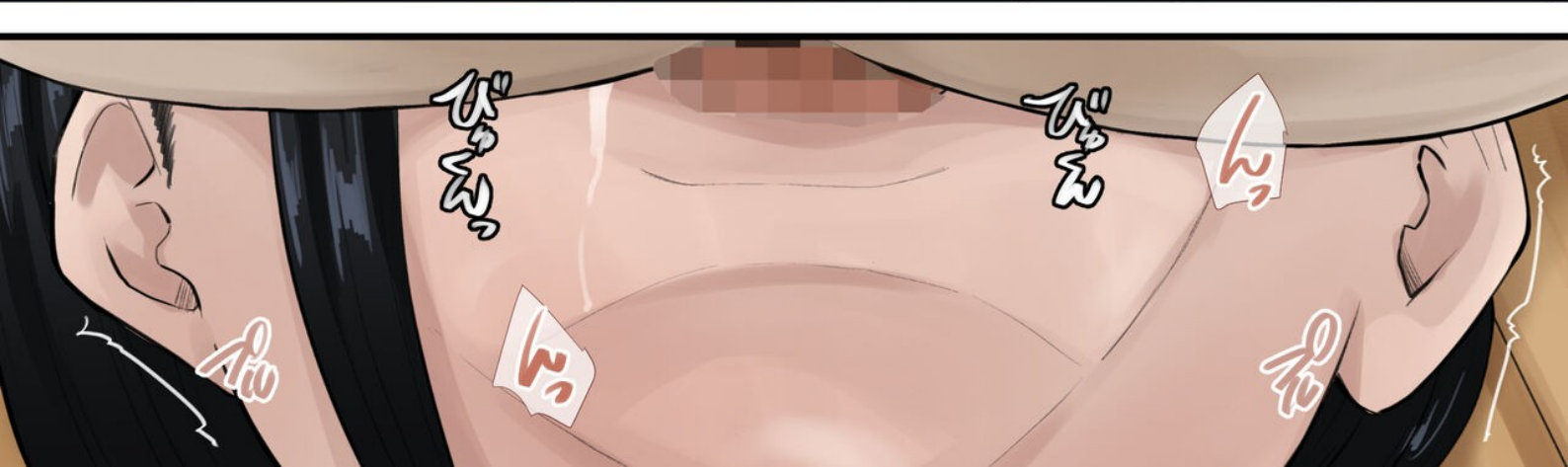
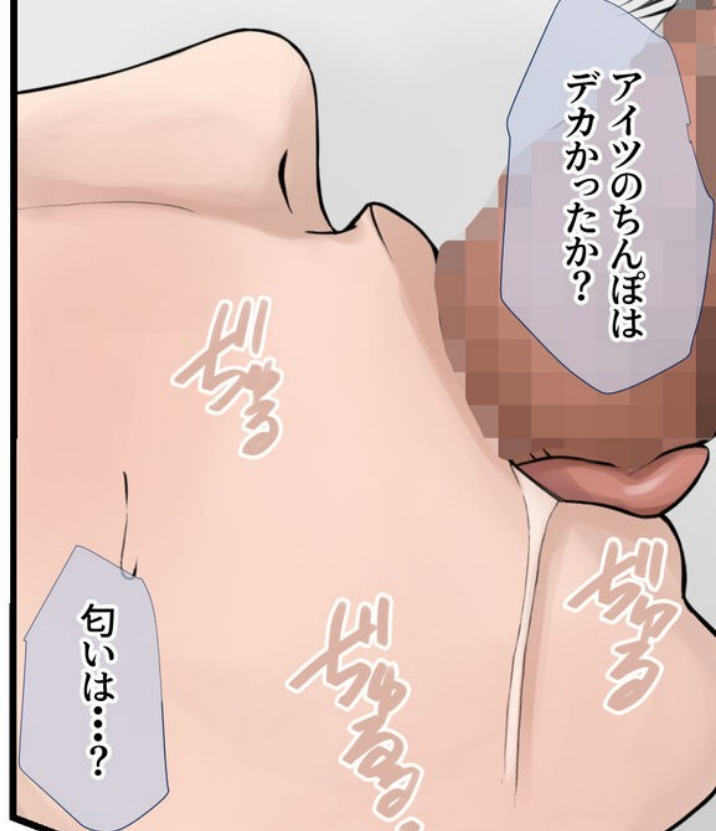
正人...っ
落ち着いて...

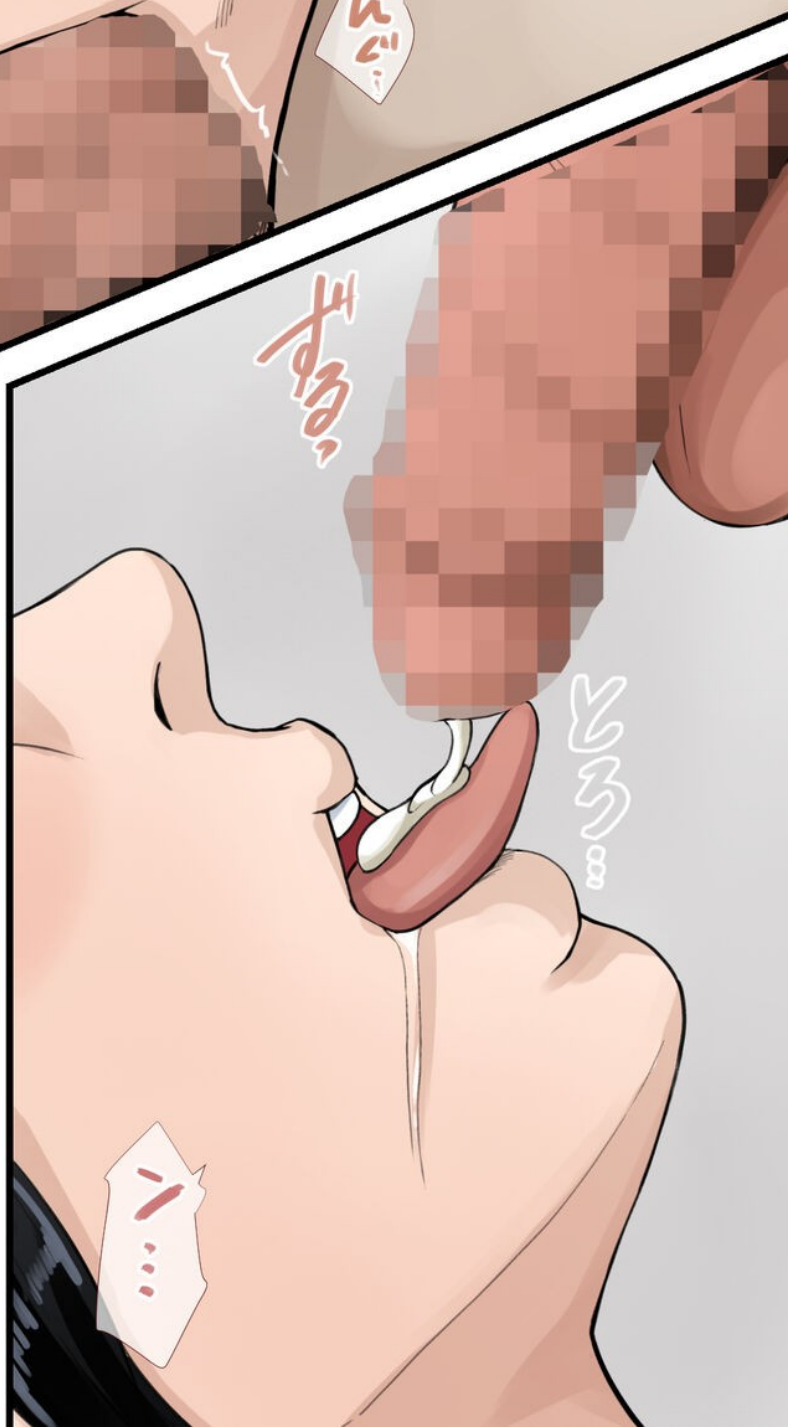
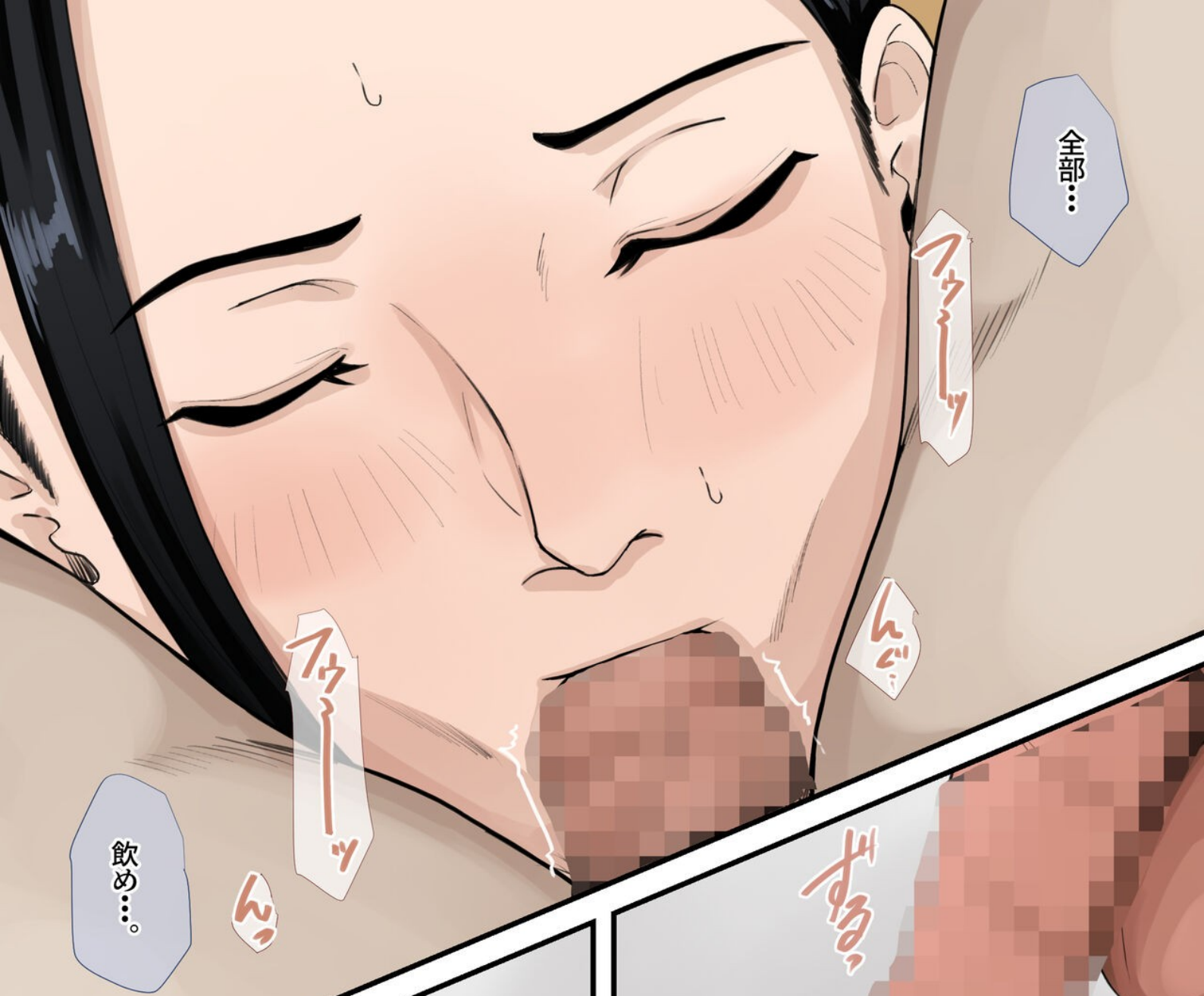


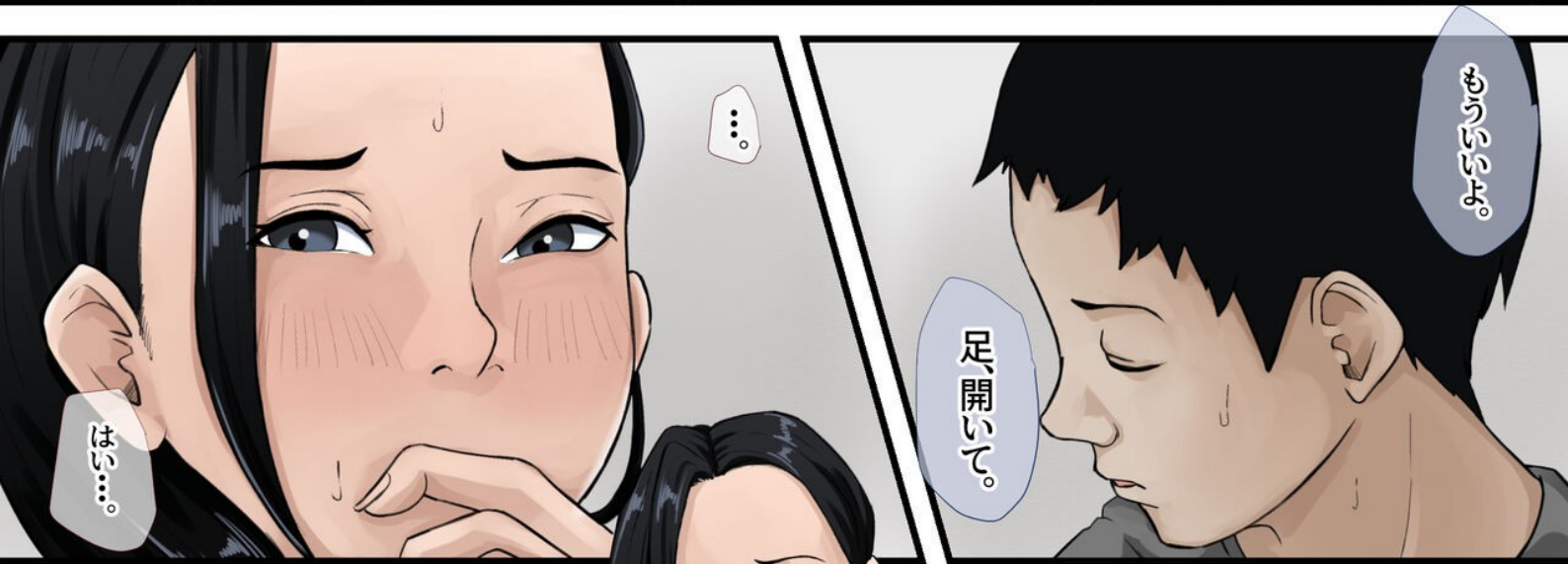


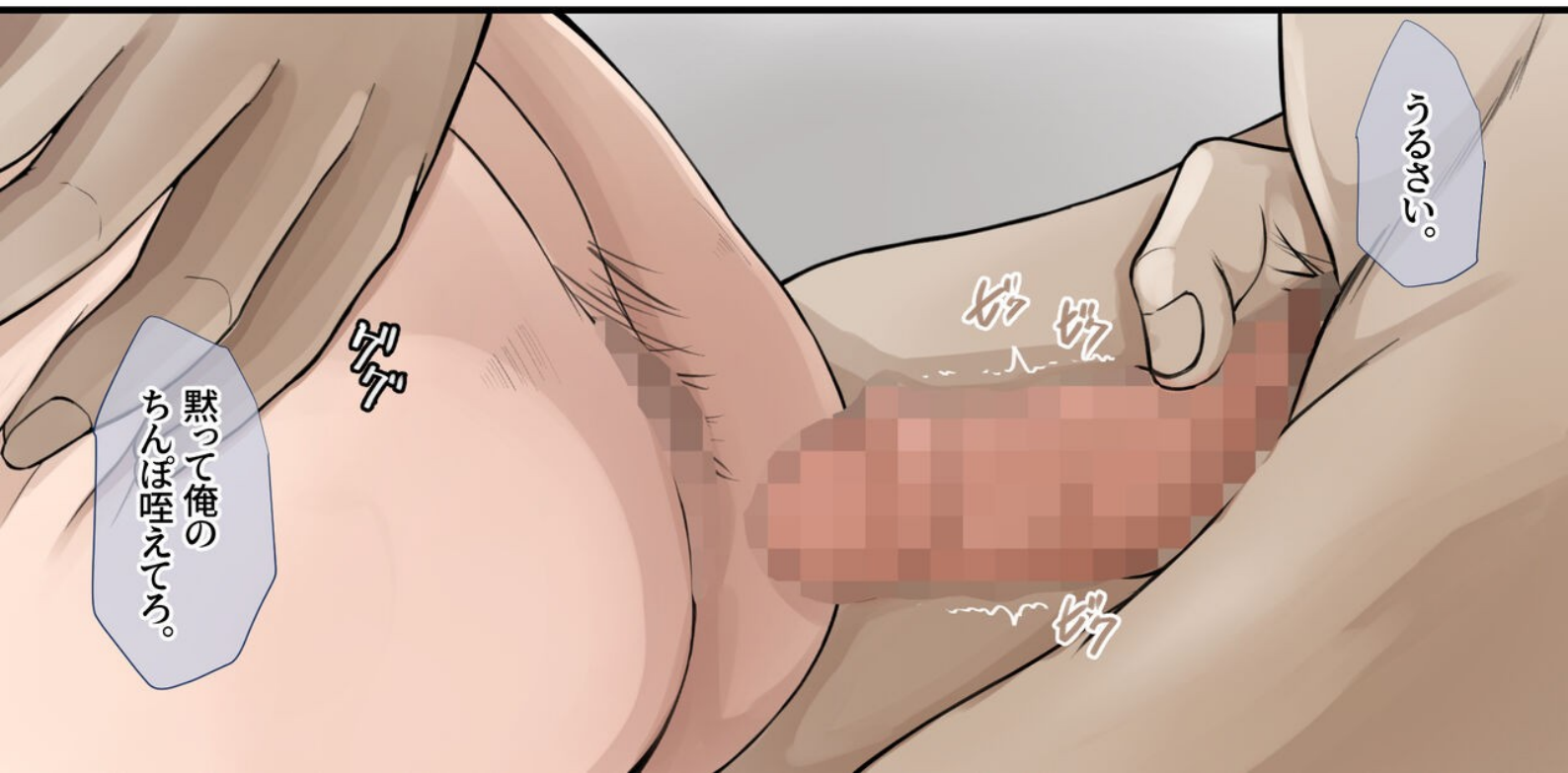
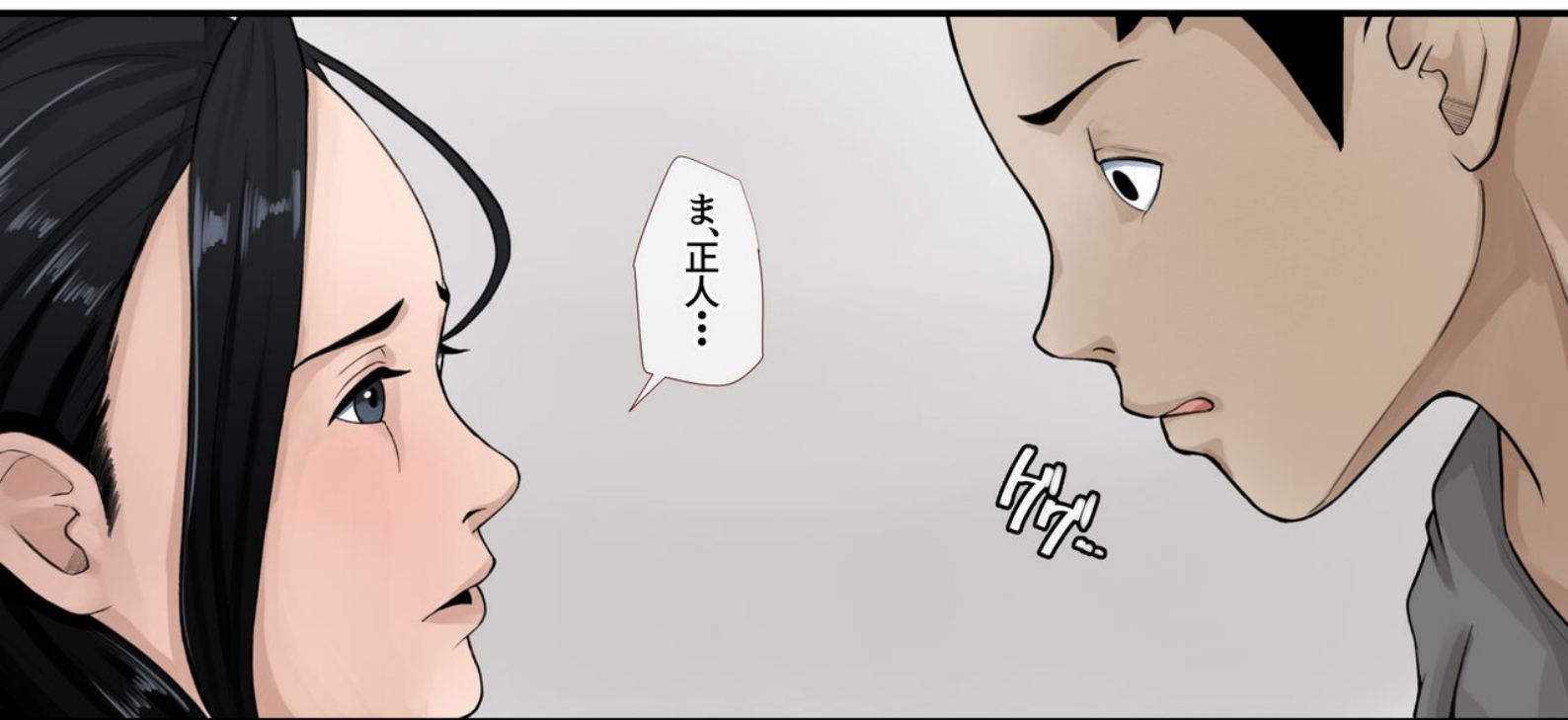




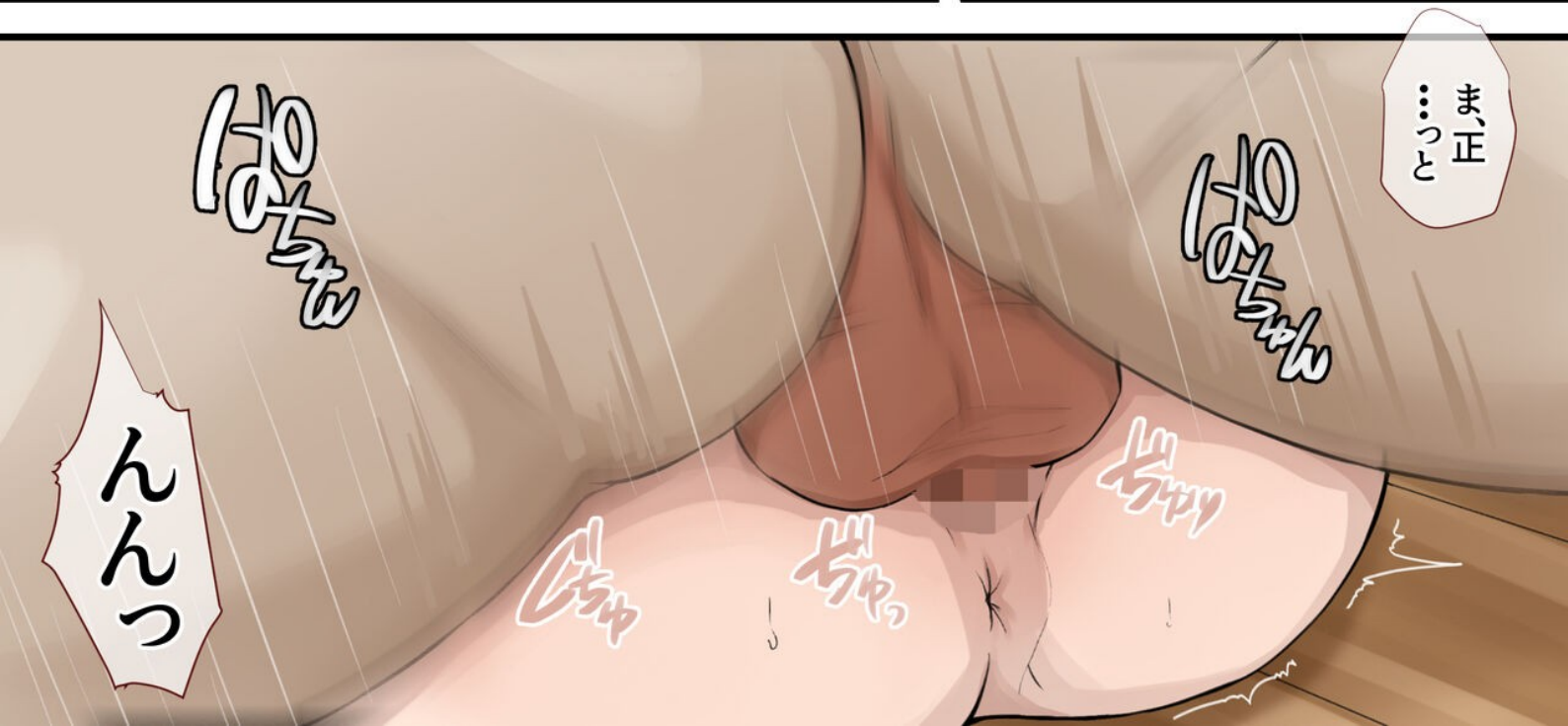
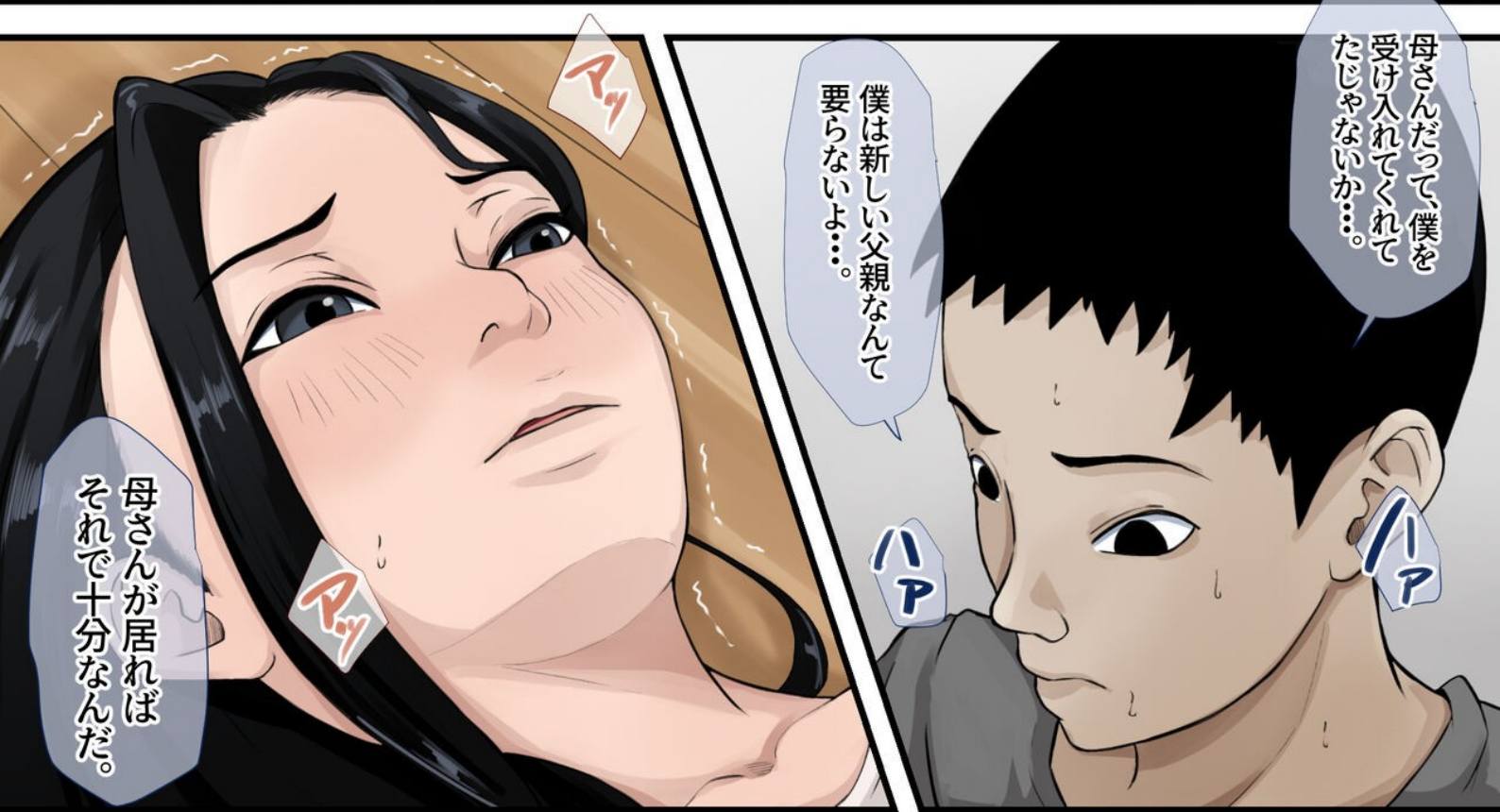


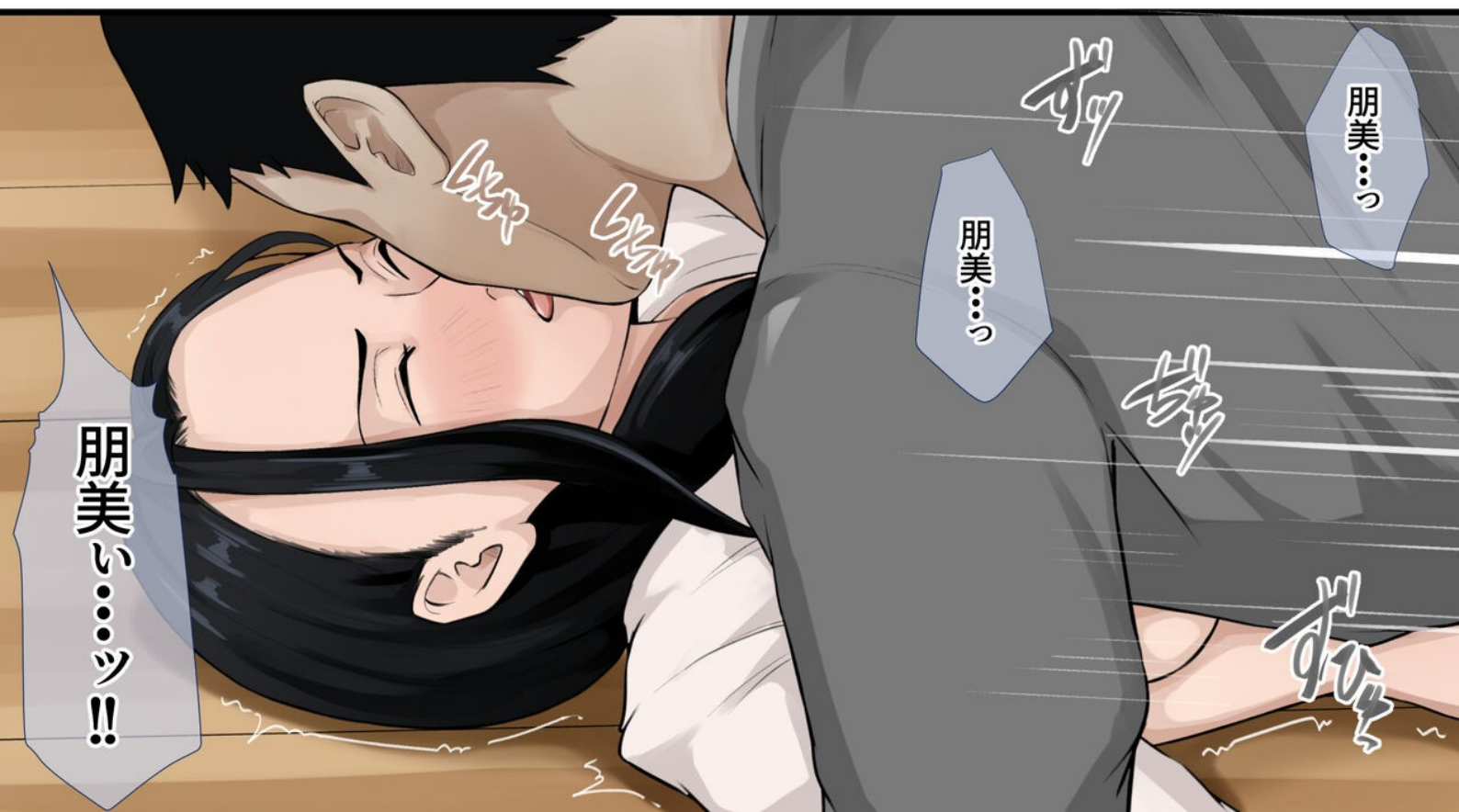












朋美い…。
このまま出すぞ…。
いいな…っ？

朋美っ

…はい。

はあ…っ

もっと膣締めろっ

はあ…っ

俺の精子
全部吸い取れっ

朋美いッ

ん…
んぐう…ッ







くそおッ

僕じゃダメ
なの...っ?

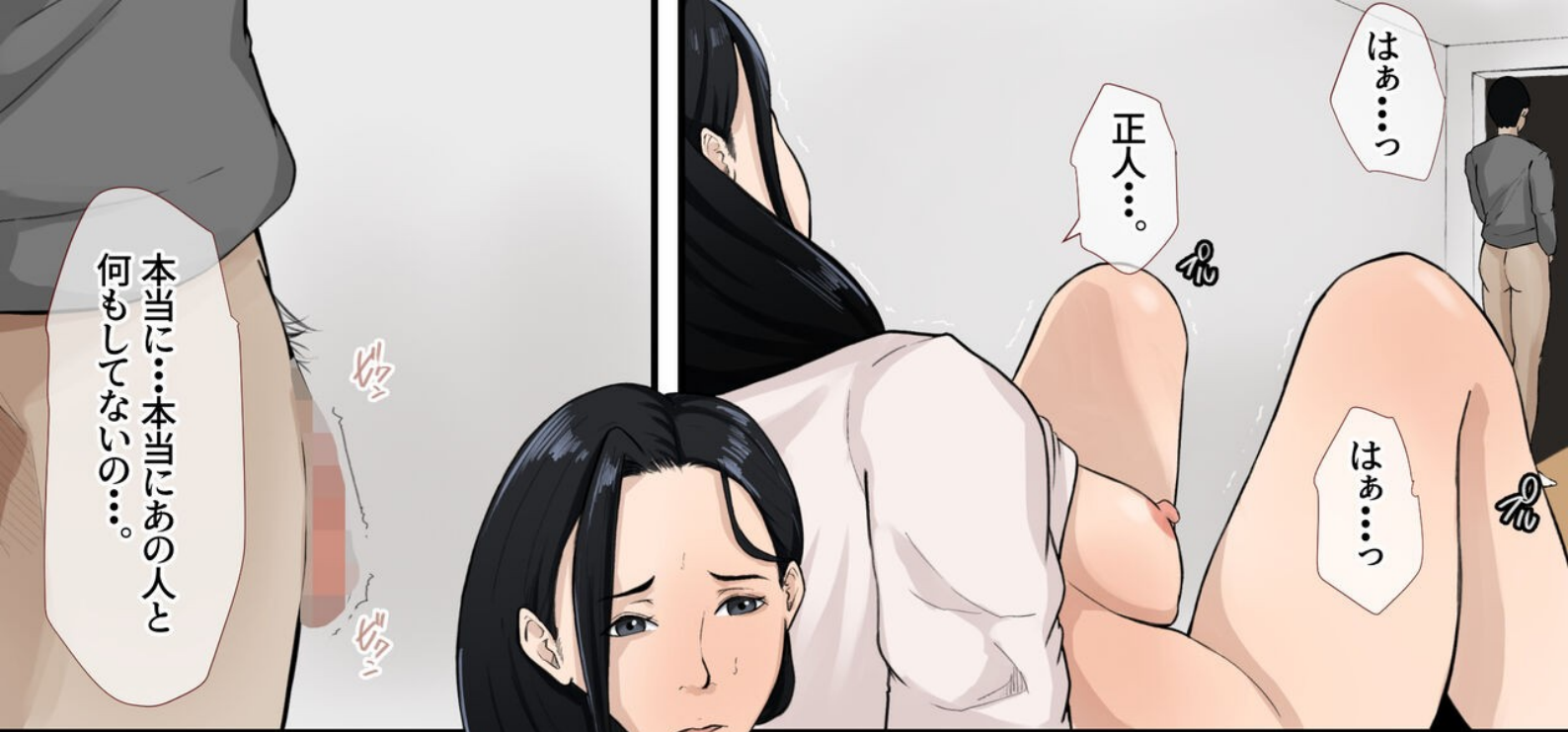
とろ...ッ

くそおッ

あんな男の方が
いいのかよ...ッ

母さんを一番愛してる
のは僕なのに...っ

僕だけが母さんを...
幸せにできるのに...っ



本当に…本当にあの人と
何もしてないの…。

正人…。

はあ…っ

はあ…っ



私が身体を
ゆるしてるのは…

あなただけよ…。



母さん…。

…本当？

正人のならお母さん…
赤ちゃんが出来ても…

僕は、母さんを...

はあ...っ

はあ...っ

はあ...っ

正人...

正人お...っ

朋美を幸せにします。

